

5 こころの健康・休養について

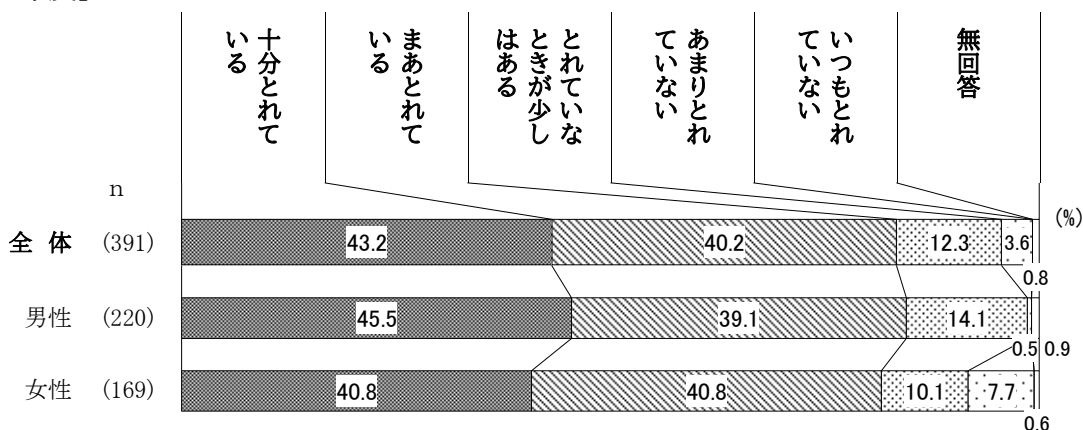
(1) こどもの睡眠時間の充足度

◇《とれている》が8割台半ば、一方、《とれていない》が1割台半ば

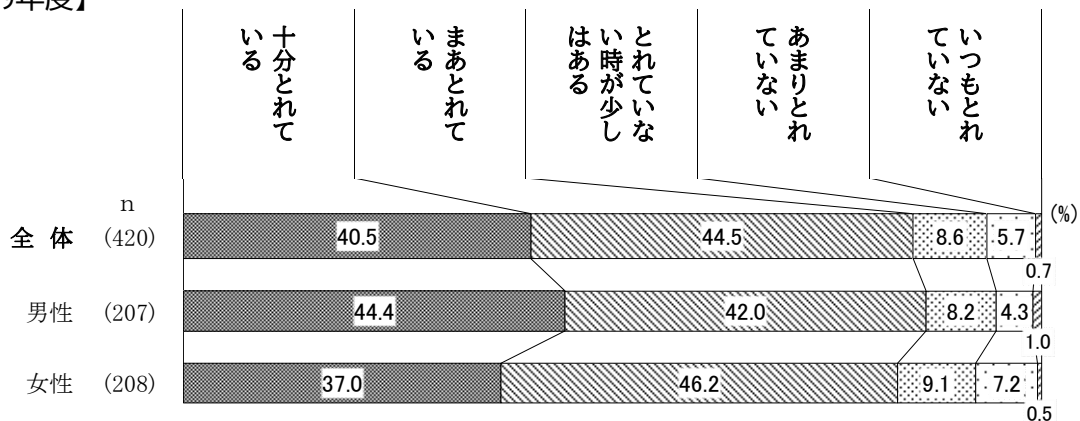
問23 お子さんは、十分睡眠が取れていると思いますか。(○は1つだけ)

<図表V-5-1>こどもの睡眠時間の充足度

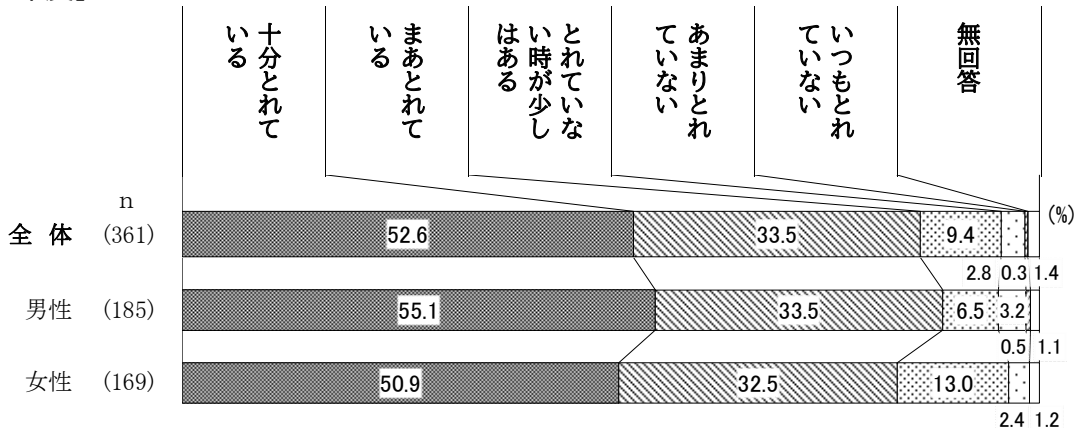
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】

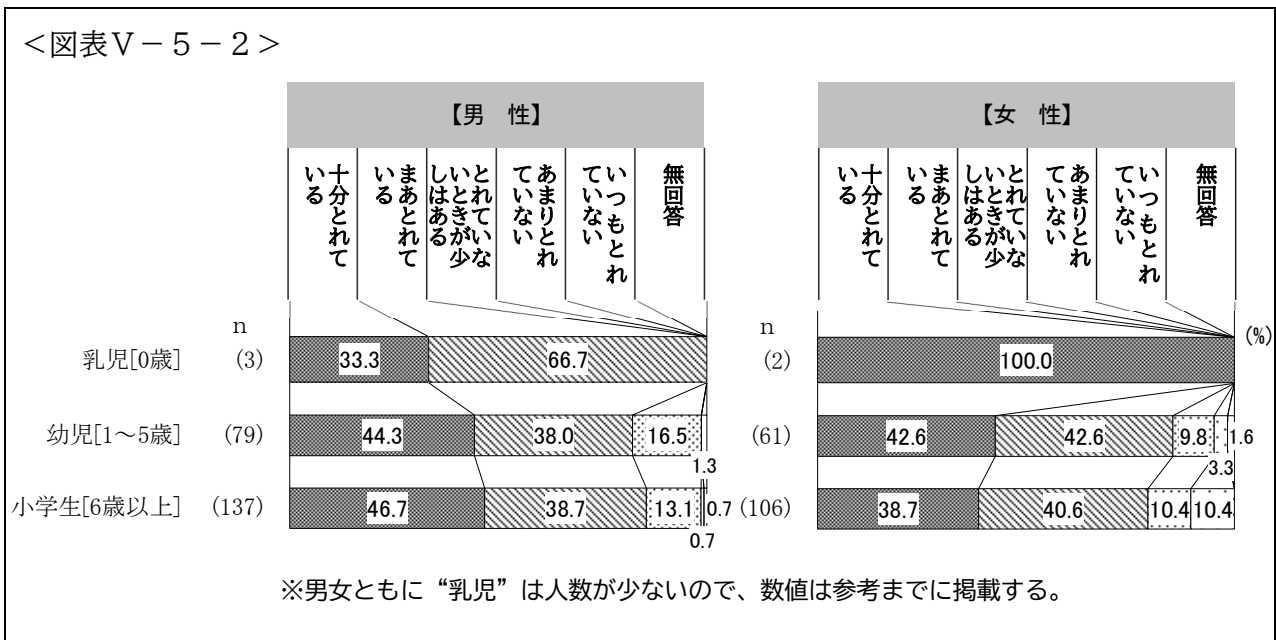


こどもの睡眠時間の充足度としては、「十分とれている」(43.2%)と「まあとれている」(40.2%)を合わせた《とれている》(83.4%)は8割台半ばとなっている。一方、「とれていないときが少しはある」(12.3%)と「あまりとれていない」(3.6%)を合わせた《とれていない》(15.9%)は1割台半ばとなっている。

性別でみると、「あまりとれていない」は、女性が男性より7ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、全体では大きな違いはみられない。性別では「とれていないときが少しはある」は、男性が平成29年度から5ポイント増加している。「まあとれている」は、女性が平成29年度から5ポイント減少している。(図表V-5-1)

【性／年齢別】



男性は《とれている》は、小学生が8割台半ば、幼児で8割を超え、《とれていない》は、幼児の方が高くなっている。女性では《とれていない》が小学生で2割と、やや高くなっている。(図表V-5-2)

(2) こどもの平日の就寝時間・起床時間

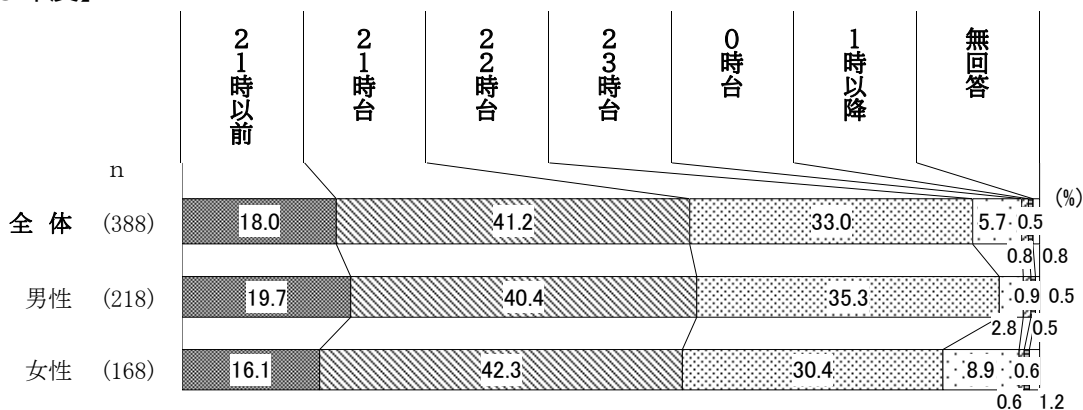
①こどもの平日の就寝時間

◇「21時台」が4割を超えて最も高く、次いで「22時台」が3割台半ば

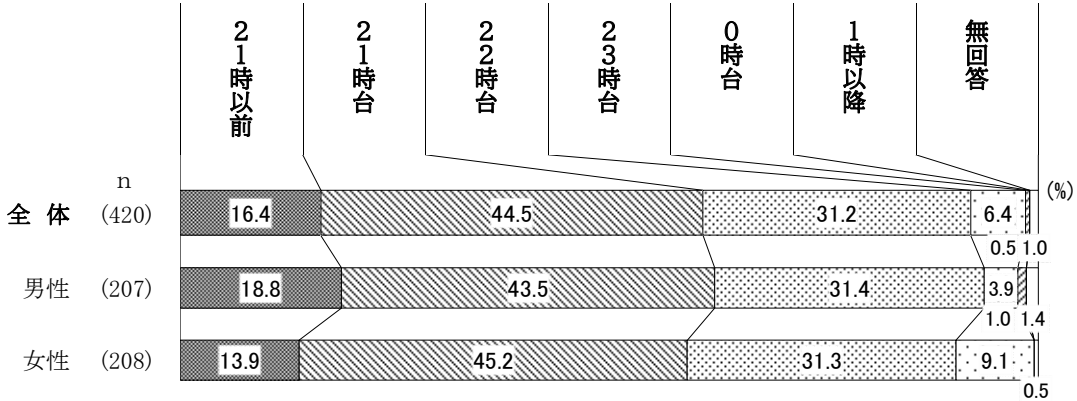
問24 お子さんの平日の『夜、眠りにつく時間』と『朝、起きる時間』についてうかがいます。
(24時間制でご記入ください…例 午後8時30分→20時30分)

<図表V-5-3>こどもの平日の就寝時間

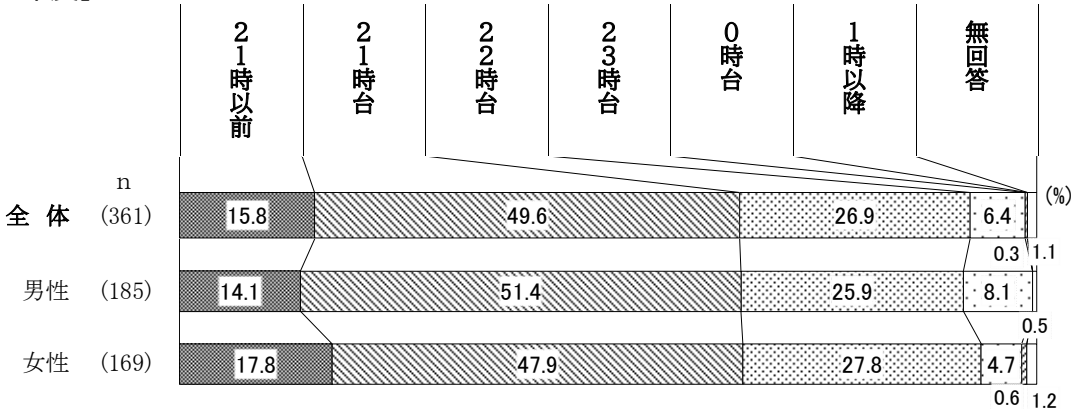
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】



こどもの平日の就寝時間を聞いたところ、「21時台」(41.2%)が4割を超えて最も高く、次いで「22時台」(33.0%)が3割台半ば、「21時以前」(18.0%)が約2割となっている。

性別で見ると、「23時台」は女性が男性より6ポイント高くなっている。

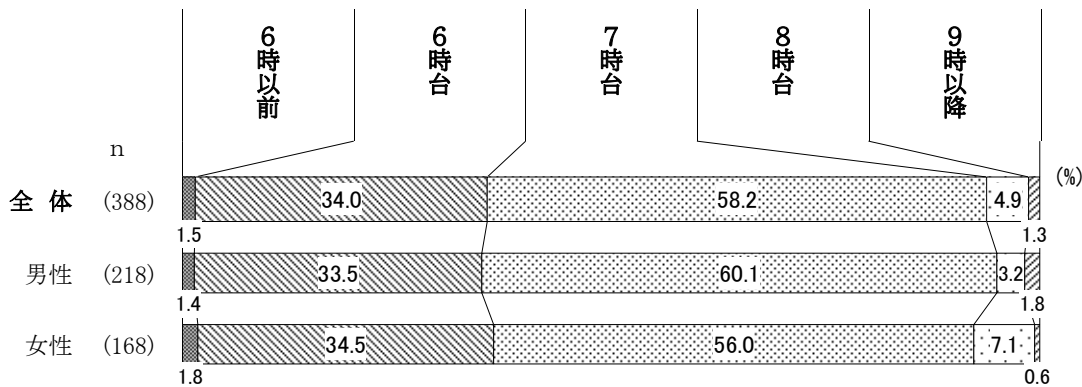
過去の調査結果と比較すると、全体、男女とも「21時台」が減少傾向にあり、平成25年度から全体で8ポイント、男性で11ポイント、女性で5ポイント減となっている。また、「22時台」は漸増傾向で、平成25年度から全体で6ポイント、男性で9ポイント増加している。(図表V-5-3)

②こどもの平日の起床時間

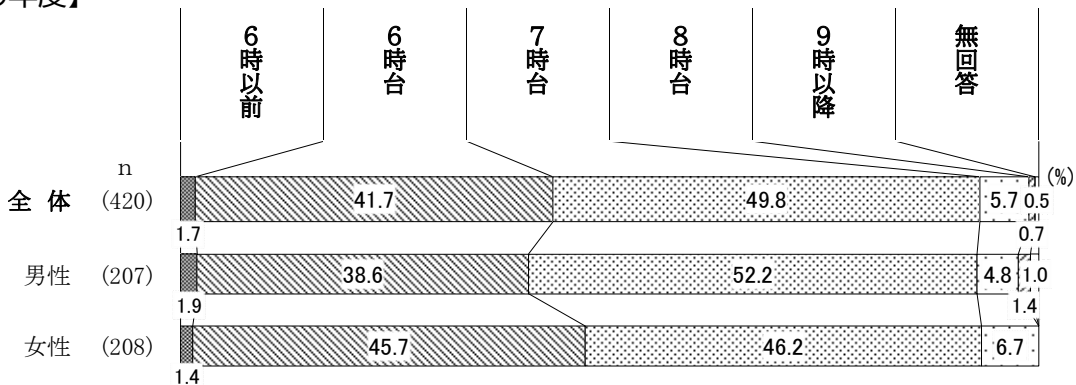
◇7時台が約6割で最も高い

<図表V-5-4>こどもの平日の起床時間

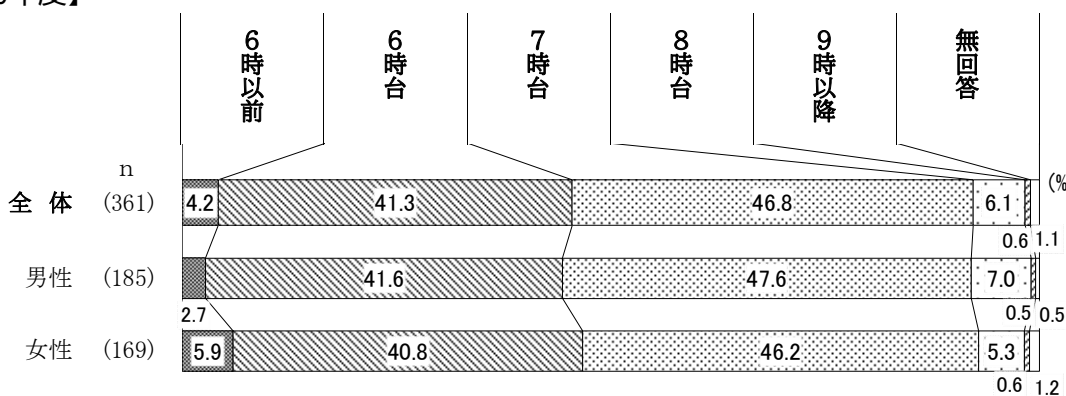
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】



こどもの平日の起床時間を聞いたところ、「7時台」(58.2%)が約6割で最も高く、次いで「6時台」(34.0%)が3割台半ばとなっている。

性別では、大きな違いはみられない。

過去の調査結果と比較すると、全体では平成29年度から「6時台」が7ポイント減少、「7時台」が8ポイント増加している。性別でも、ほぼ同様の傾向にあり、「6時台」は平成29年度から男性で5ポイント、女性で11ポイント減少し、「7時台」は平成25年度から男性で12ポイント、女性で9ポイント増加している。(図表V-5-4)

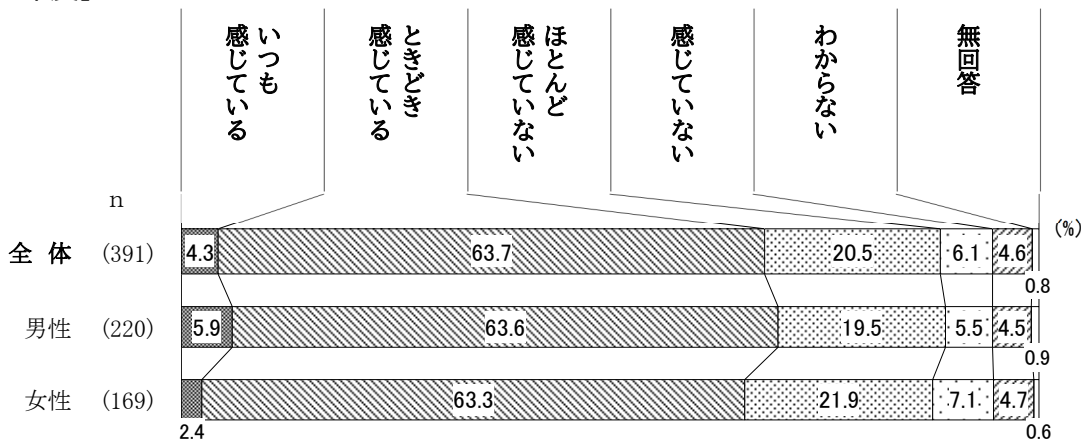
(3) こどものストレスの有無

◇《感じている》が約7割

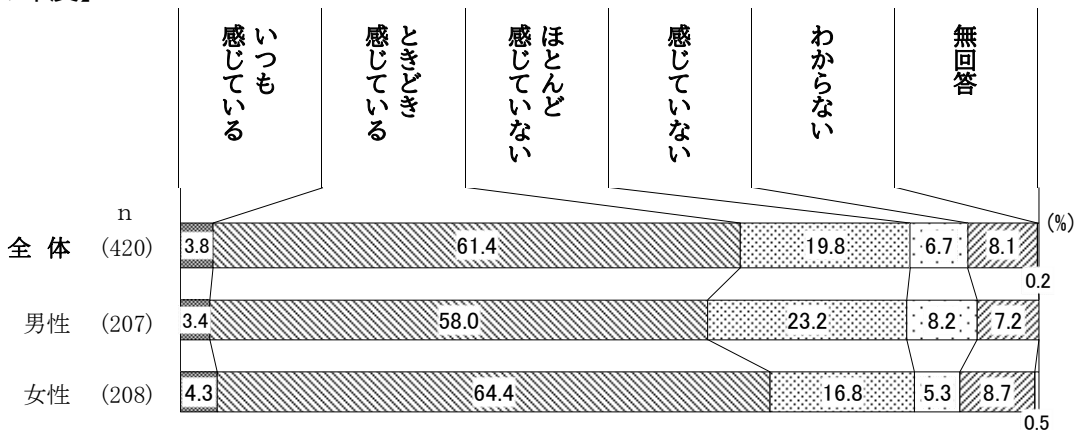
問25-1 お子さんが日常生活の中でストレスを感じていると思われるときがありますか。
(○は1つだけ)

<図表V-5-5>こどものストレスの有無

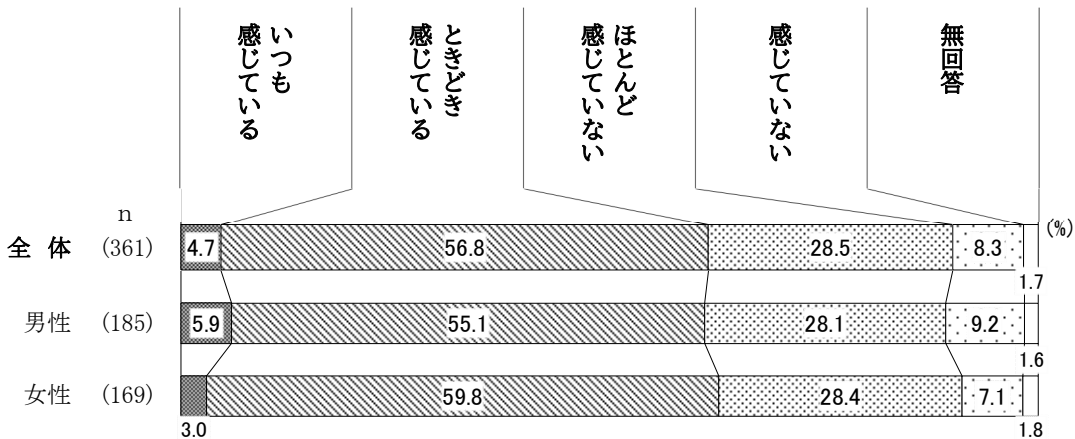
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】(参考)

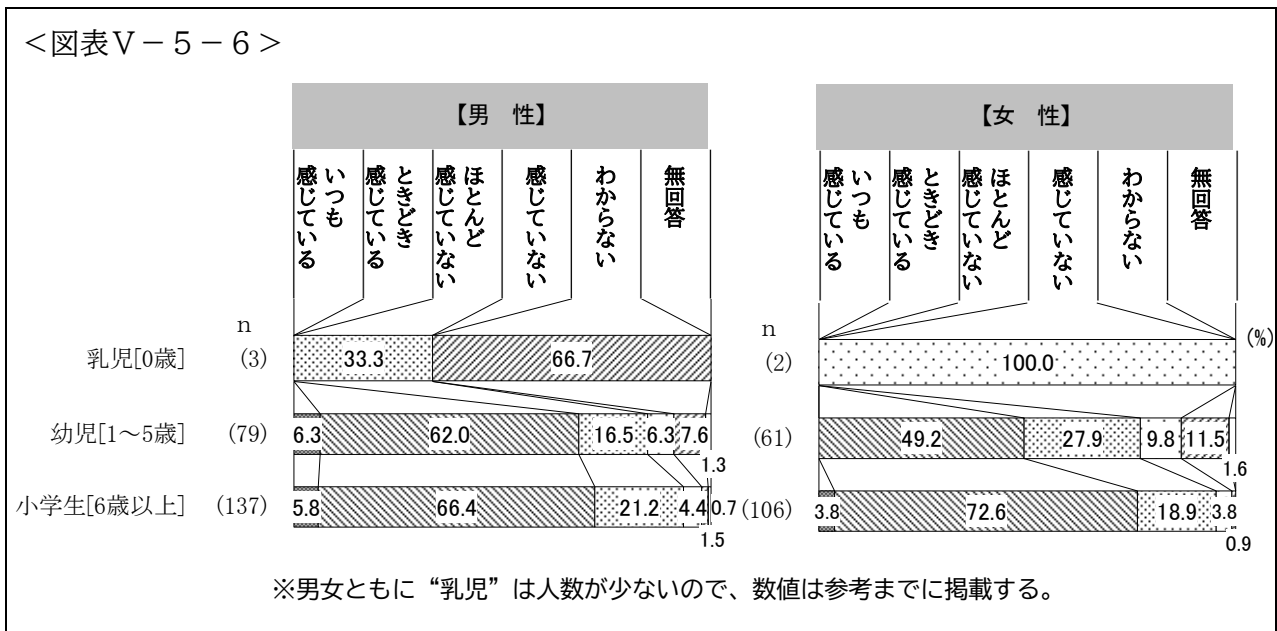


こどものストレスの有無を聞いたところ、「いつも感じている」(4.3%)と「ときどき感じている」(63.7%)を合わせた《感じている》(68.0%)は約7割となっている。一方、「ほとんど感じていない」(20.5%)と「感じていない」(6.1%)を合わせた《感じていない》(26.6%)は2割台半ばとなっている。

性別では、大きな違いはみられない。

過去の調査結果との比較については、全体では大きな違いはみられない。性別では、男性は「ときどき感じている」が平成29年度から5ポイント増加し、《感じている》でも同8ポイント増加している。一方、《感じていない》では平成29年度から6ポイント減少している。女性は「ほとんど感じていない」が平成29年度から5ポイント増加し、《感じていない》でも6ポイント増加している。なお、平成25年度調査は選択肢が異なるので、参考までに留める。(図表V-5-5)

【性／年齢別】



男女とも《感じている》は幼児より小学生で高く、女性の小学生では7割台半ばと高くなっている。(図表V-5-6)

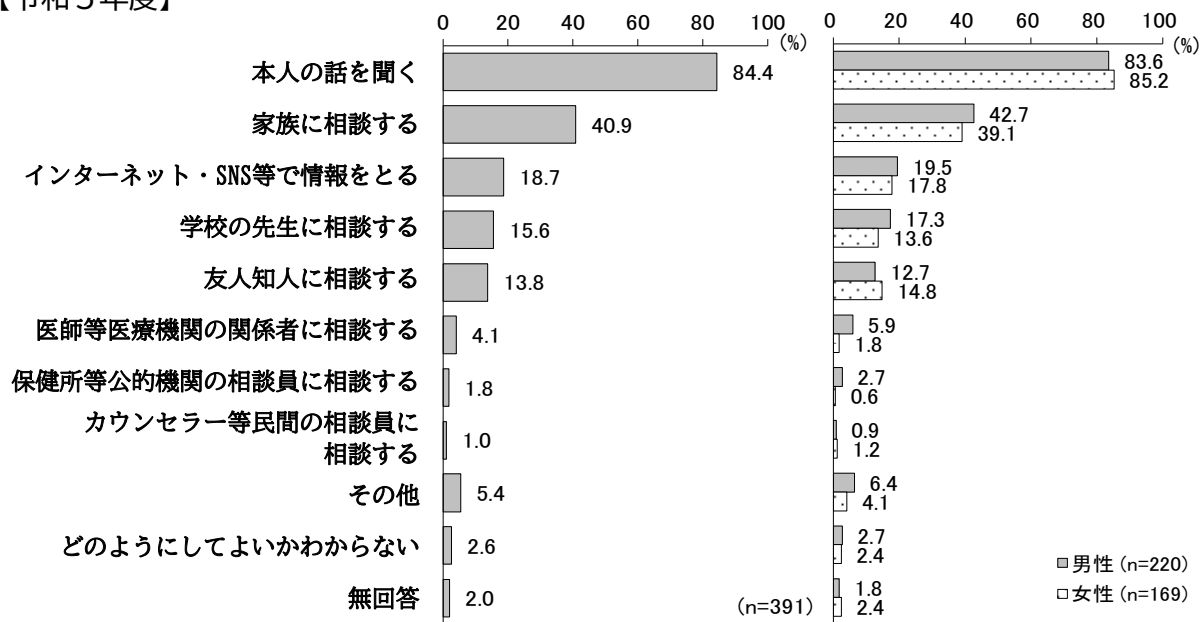
(4) こどもがストレスを感じているときの対処法

◇「本人の話を聞く」が8割台半ばで最も高い

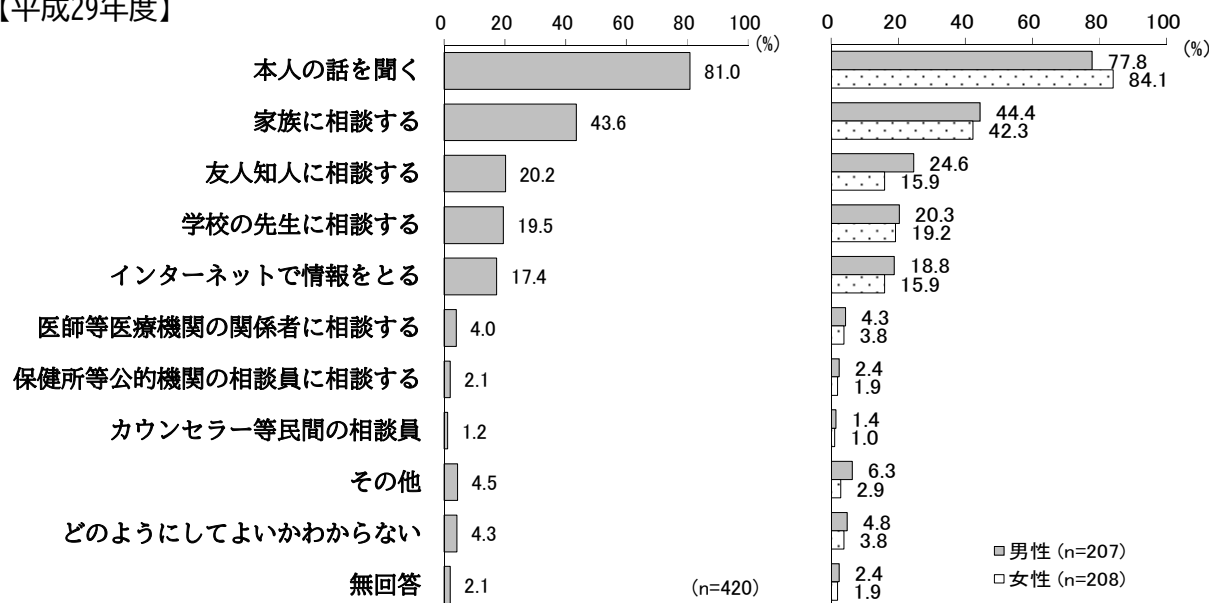
問 25-2 お子さんがストレスを感じていると思うとき、どのように対処していますか。
(○はいくつでも)

<図表V-5-7>こどもがストレスを感じているときの対処法

【令和5年度】



【平成29年度】



こどもがストレスを感じているときの対処法を聞いたところ、「本人の話を聞く」(84.4%)が8割台半ばで最も高く、次いで「家族に相談する」(40.9%)が4割、「インターネット・SNS等で情報をとる」(18.7%)が約2割となっている。

性別では、特に大きな違いはみられない。

平成29年度の調査結果と比較すると、全体では「友人知人に相談する」が6ポイント減少している。性別では男性は「本人の話を聞く」が5ポイント増加、「友人知人に相談する」が11ポイント減少している。女性は「学校の先生に相談する」が5ポイント減少している。(図表V-5-7)

【性／年齢別】

<図表V-5-8>

			(%)											
		n	本人の話を聞く	学校の先生に相談する	家族に相談する	友人知人に相談する	インターネット・SNS等で情報をとる	医師等医療機関の関係者に相談する	保健所等公的機関の相談員に相談する	カウンセラー等民間の相談員に相談する	その他	わからない/してよいか	無回答	
性／年齢別	男性	乳児[0歳]	3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-
		幼児[1~5歳]	79	69.6	21.5	27.8	6.3	20.3	2.5	3.8	-	13.9	2.5	3.8
		小学生[6歳以上]	137	94.2	15.3	51.1	16.8	19.0	8.0	2.2	1.5	2.2	2.2	0.7
	女性	乳児[0歳]	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
		幼児[1~5歳]	61	70.5	9.8	37.7	11.5	19.7	-	-	-	8.2	4.9	6.6
		小学生[6歳以上]	106	94.3	16.0	40.6	17.0	16.0	2.8	0.9	1.9	1.9	0.9	-

※性／年齢別では、男女ともに“乳児”は人数が少ないので、数値は参考までに掲載する。
 ※図表の見方としては、比率の高い層を■で区別するようにした。

男性では「本人の話を聞く」は、小学生が9割台半ばと高くなっている。女性でも「本人の話を聞く」は、小学生が9割台半ばと高くなっている。(図表V-5-8)

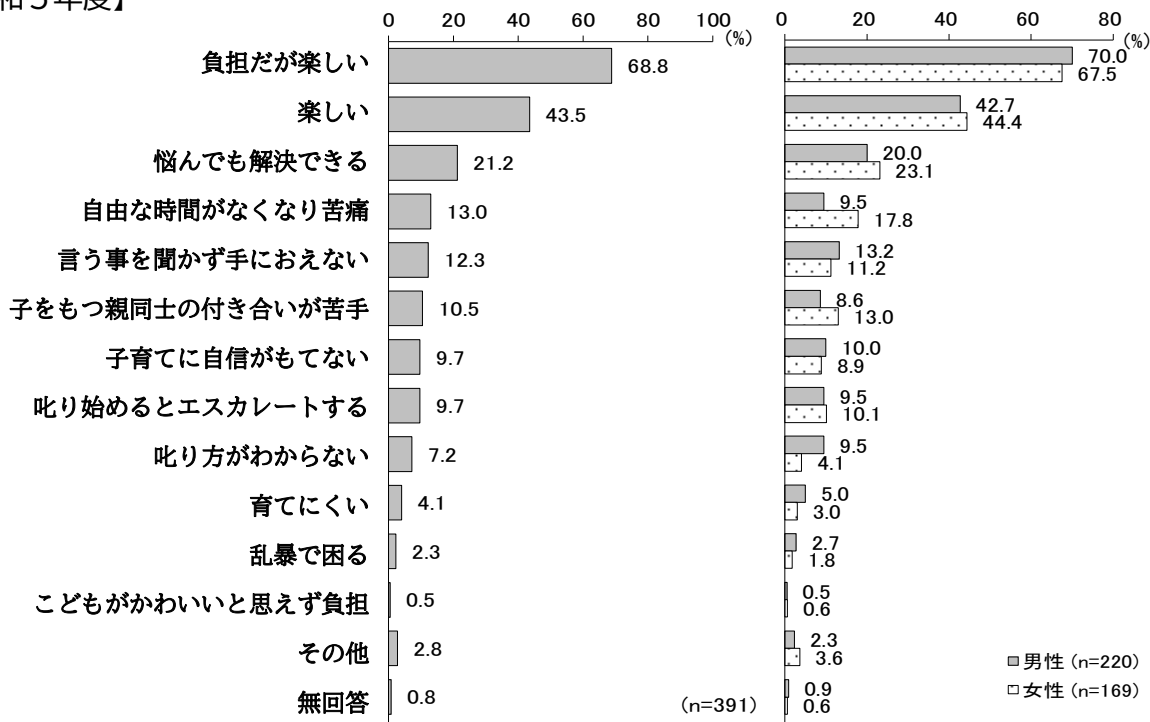
(5) 子育てに関する気持ち

◇「負担だが楽しい」が約7割

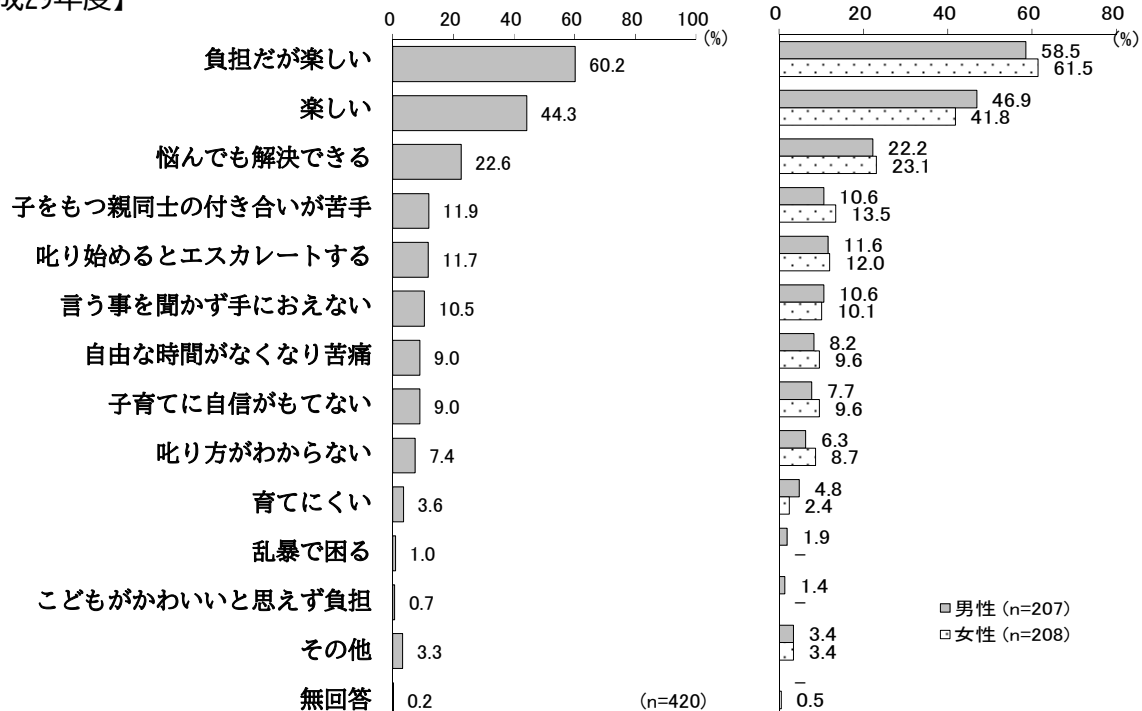
問 26 保護者の方ご自身のことについてお尋ねします。
 子育てに関する気持ちはいかがですか。(○はいくつでも)

<図表V-5-9>子育てに関する気持ち

【令和5年度】



【平成29年度】



子育てに関する気持ちを聞いたところ、「負担だが楽しい」(68.8%)が約7割で最も高く、次いで「楽しい」(43.5%)が4割台半ば、「悩んでも解決できる」(21.2%)が2割を超えている。

性別で見ると、「自由な時間がなくなり苦痛」は女性が男性より8ポイント高く、約2割となっている。

平成29年度の調査結果と比較すると、全体では「負担だが楽しい」が8ポイント増加している。性別では「負担だが楽しい」が男性で11ポイント、女性で6ポイント増加している。また、「自由な時間がなくなり苦痛」は、女性で8ポイント増加している。(図表V-5-9)

【性／年齢別】

<図表V-5-10>

		n	楽しい	負担だが楽しい	悩んでも解決できる	自由な時間がなくなり苦痛	子育てに自信がもてない	こどもがかわいいと思えず負担	育てにくい	言う事を聞かず手におえない	乱暴で困る	叱り方がわからない	叱り始めるとエスカレートする	子をもつ親同士の付き合いが苦手	その他	無回答
性／年齢別	男性	乳児[0歳]	3	66.7	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	幼児[1~5歳]	79	44.3	73.4	21.5	11.4	7.6	-	3.8	17.7	3.8	12.7	3.8	6.3	1.3	1.3
	小学生[6歳以上]	137	40.9	67.9	19.7	8.0	11.7	0.7	5.8	10.9	2.2	8.0	13.1	10.2	2.9	0.7
女性	乳児[0歳]	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	幼児[1~5歳]	61	45.9	75.4	24.6	26.2	8.2	-	3.3	9.8	-	1.6	3.3	13.1	3.3	1.6
	小学生[6歳以上]	106	42.5	64.2	22.6	13.2	9.4	0.9	2.8	12.3	2.8	5.7	14.2	13.2	3.8	-

※性／年齢別では、男女ともに“乳児”は人数が少ないので、数値は参考までに掲載する。

※図表の見方としては、比率の高い層を■で区別するようにした。

男女とも「負担だが楽しい」は高く、男性は幼児で7割台半ば、小学生で約7割、女性は幼児で7割台半ば、小学生は6割台半ばとなっている。(図表V-5-10)

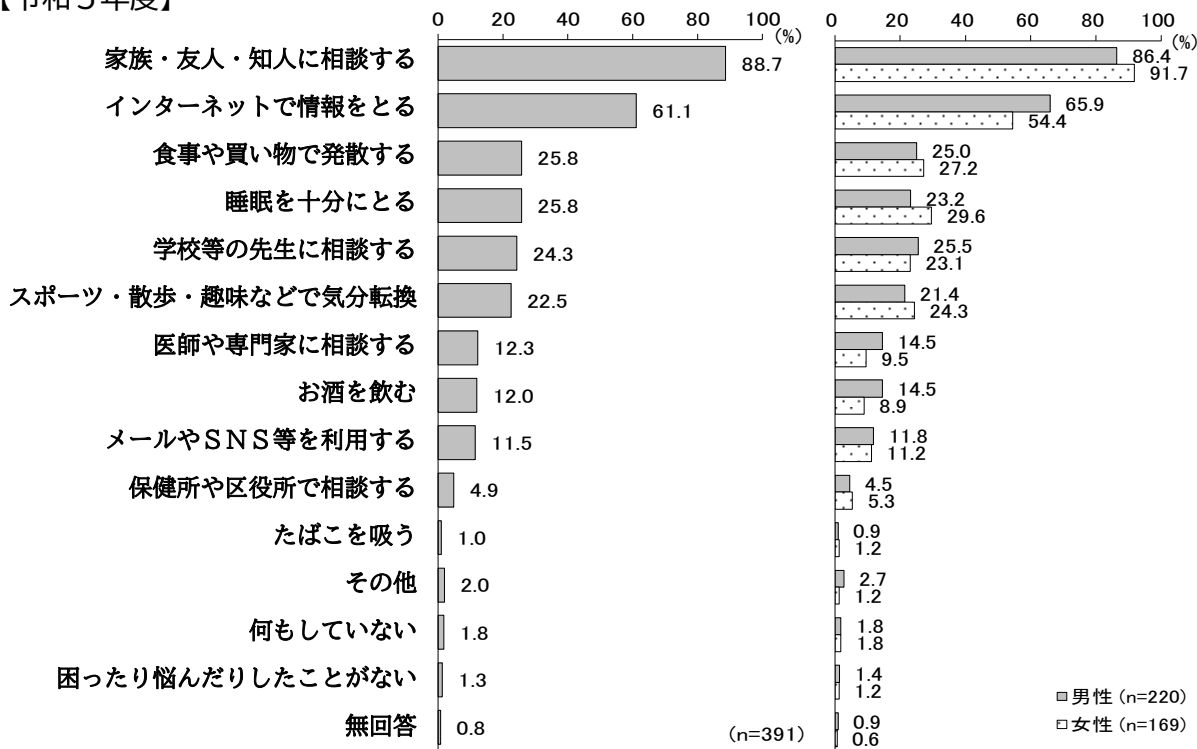
(6) こどものことで困ったり悩んだりしたときの対処法

◇「家族・友人・知人に相談する」が約9割で最も高い

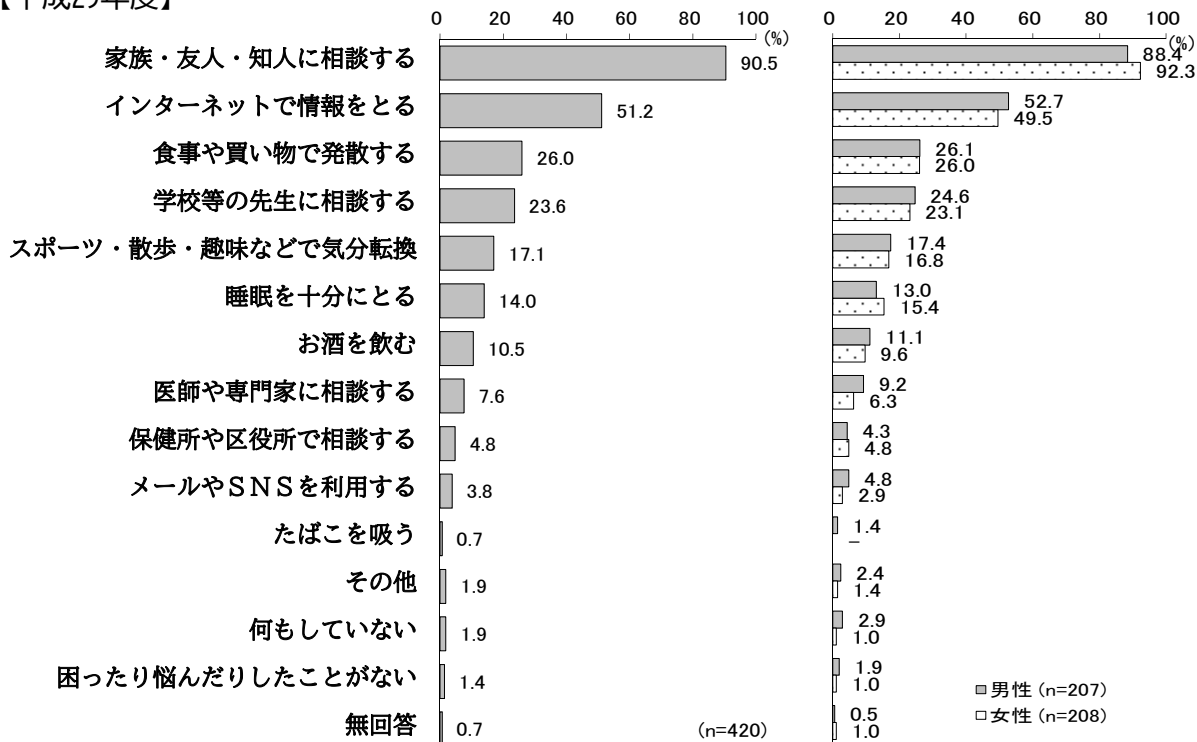
問27 お子さんのことで困ったり悩んだりしたときにどのように対処していますか。
(○はいくつでも)

<図表V-5-11> こどものことで困ったり悩んだりしたときの対処法

【令和5年度】



【平成29年度】



こどものことで困ったり悩んだりしたときの対処法を聞いたところ、「家族・友人・知人に相談する」(88.7%)が約9割で最も多く、次いで「インターネットで情報をとる」(61.1%)が6割を超え、「食事や買い物で発散する」と「睡眠を十分に取る」(ともに25.8%)、「学校等の先生に相談する」(24.3%)が2割台半ばとなっている。

性別では、男性が女性より高い項目は「インターネットで情報をとる」の11ポイント差で6割台半ば、「医師や専門家に相談する」と「お酒を飲む」はともに5ポイント差の1割台半ばとなっている。また、女性が男性より高い項目は「家族・友人・知人に相談する」の5ポイント差で9割を超え、「睡眠を十分に取る」の6ポイント差で約3割となっている。

平成29年度と比較すると、全体、男女とも増加している項目が多く、なかでも「睡眠を十分に取る」は全体で11ポイント、男性で10ポイント、女性で14ポイント、「インターネットで情報をとる」は全体で9ポイント、男性で13ポイント、「メールや SNS を利用する」は全体で7ポイント、男性で7ポイント、女性で8ポイント、「スポーツ・散歩・趣味などで気分転換」は全体で5ポイント、女性で7ポイント、「医師や専門家に相談する」は男性で5ポイント、それぞれ増加している。「(図表V-5-11)

【性／年齢別】

<図表V-5-12>

		n	(%)															
			家族・友人・知人に相談する	インターネットで情報をとる	メールやSNSを利用する	保健所や区役所で相談する	学校等の先生に相談する	医師や専門家に相談する	気分転換 スポーツ・散歩・趣味などで	食事や買い物で発散する	睡眠を十分に取る	お酒を飲む	たばこを吸う	その他	何もしていない	困ったり悩んだりしたことがない	無回答	
性／年齢別	男性	乳児[0歳]	3	100.0	100.0	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	
		幼児[1~5歳]	79	86.1	73.4	17.7	7.6	34.2	17.7	22.8	25.3	27.8	8.9	-	6.3	1.3	-	1.3
		小学生[6歳以上]	137	86.1	61.3	8.8	2.9	21.2	13.1	20.4	24.8	21.2	18.2	1.5	0.7	2.2	2.2	0.7
	女性	乳児[0歳]	2	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		幼児[1~5歳]	61	88.5	55.7	19.7	6.6	26.2	6.6	16.4	29.5	36.1	6.6	-	1.6	1.6	1.6	1.6
		小学生[6歳以上]	106	93.4	53.8	6.6	3.8	21.7	11.3	29.2	26.4	26.4	10.4	1.9	0.9	1.9	0.9	-

※性／年齢別では、男女ともに「乳児」は人数が少ないので、数値は参考までに掲載する。
 ※図表の見方としては、比率の高い層を■で区別するようにした。

男性では「家族・友人・知人に相談する」は、幼児、小学生ともに8割台半ばと最も高く、次いで「インターネットで情報をとる」は、幼児が7割台半ば、小学生が6割を超えている。

女性では「家族・友人・知人に相談する」は、小学生が9割台半ば、幼児が約9割と最も高く、次いで「インターネットで情報をとる」は、幼児、小学生とも5割台半ばとなっている。(図表V-5-12)

6 たばこ・アルコールについて

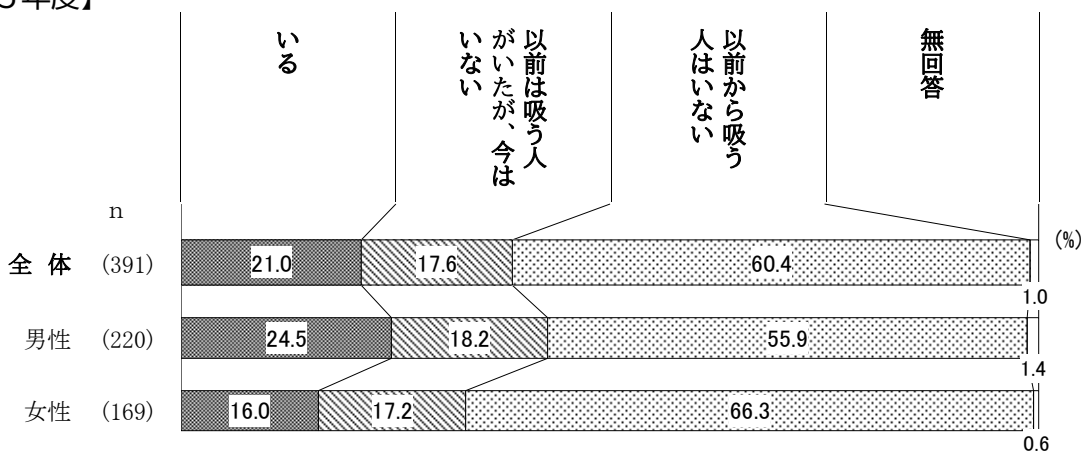
(1) 家族における喫煙者の有無

◇「いる」は2割を超える

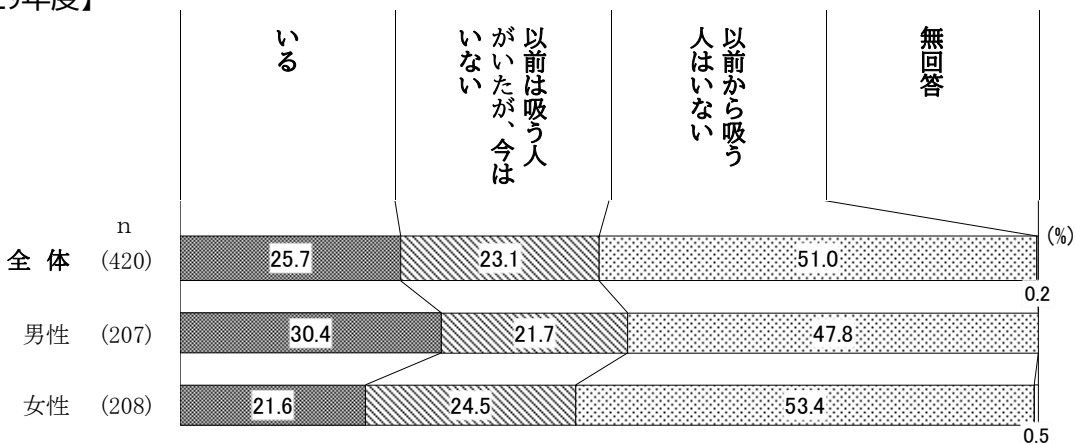
問28-1 あなたの家族の中に、たばこを吸う人はいますか。(○は1つだけ)

<図表V-6-1> 家族における喫煙者の有無

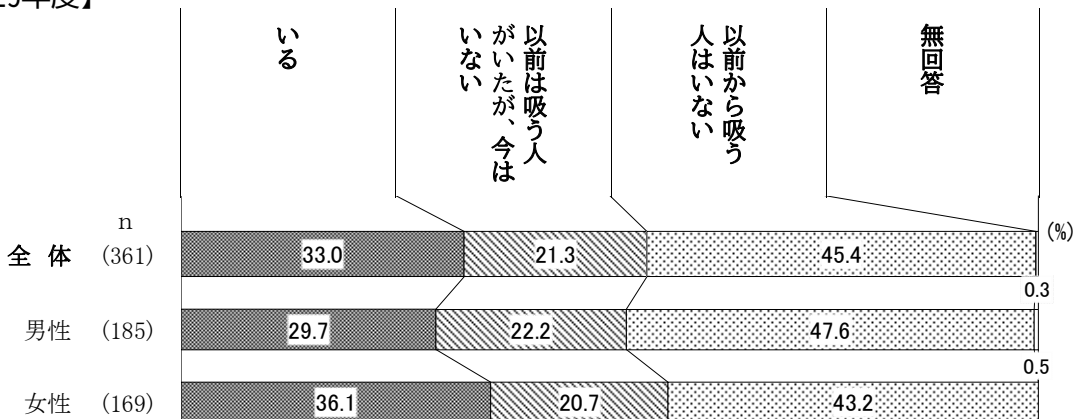
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】



家族における喫煙者の有無を聞いたところ、「いる」(21.0%)は2割を超え、「以前は吸う人がいたが、今はいない」(17.6%)は約2割、「以前から吸う人はいない」(60.4%)は6割となっている。

性別で見ると、「いる」は男性が女性より8ポイント高く、2割台半ば、「以前から吸う人はいない」は女性が男性より10ポイント高く、6割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、全体では「いる」が減少傾向にあり、平成25年度から12ポイント減少している。一方、「以前から吸う人はいない」は増加傾向にあり、平成25年度から15ポイント、平成29年度から9ポイント増加している。また、「以前は吸う人がいたが、今はいない」が平成29年度から5ポイント減少している。性別では、「いる」は男女とも減少傾向にあり、男性が平成29年度から5ポイント、女性が平成25年度から20ポイント減となっている。「以前から吸う人はいない」は男女とも増加傾向にあり、男性が平成25年度から8ポイント、女性が平成25年度から23ポイント、平成29年度から12ポイント、それぞれ増加している。また、「以前は吸う人がいたが、今はいない」は女性で平成29年度から7ポイント減少している。(図表V-6-1)

(2) 家族全員が禁煙することの検討状況

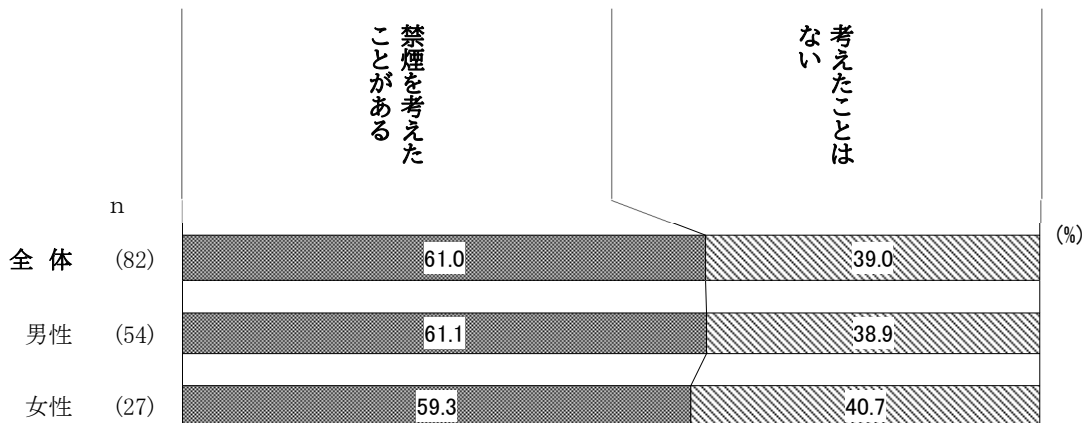
◇「禁煙を考えたことがある」は6割を超える

(問28-1で、「1 いる」とお答えの方に)

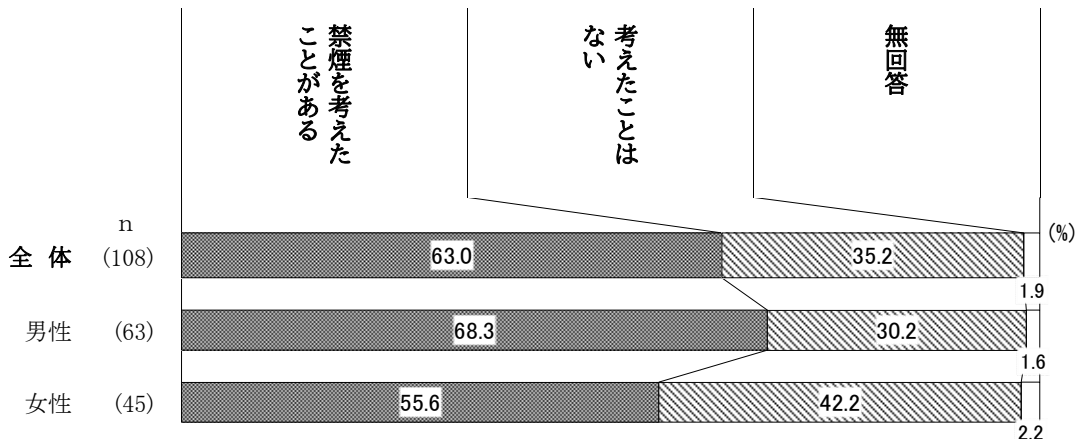
問28-2 お子さんのために、家族全員で禁煙を考えたことはありますか。(○は1つだけ)

<図表V-6-2>家族全員が禁煙することの検討状況

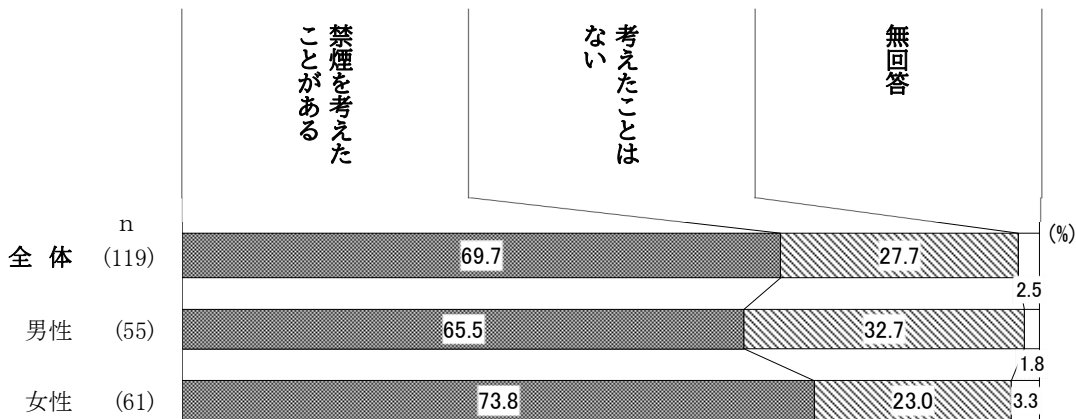
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】



問28-1で、「1 いる」と回答した人に家族全員が禁煙することの検討状況を聞いたところ、「禁煙を考えたことがある」(61.0%)が6割を超え、「考えたことはない」(39.0%)が約4割となっている。

性別では、大きな違いはみられない

過去の調査結果と比較すると、全体では「禁煙を考えたことがある」は減少傾向にあり、平成25年度から8ポイント減となっている。性別では男性は「禁煙を考えたことがある」が7ポイント減少、「考えたことはない」が8ポイント増加している。(図表V-6-2)

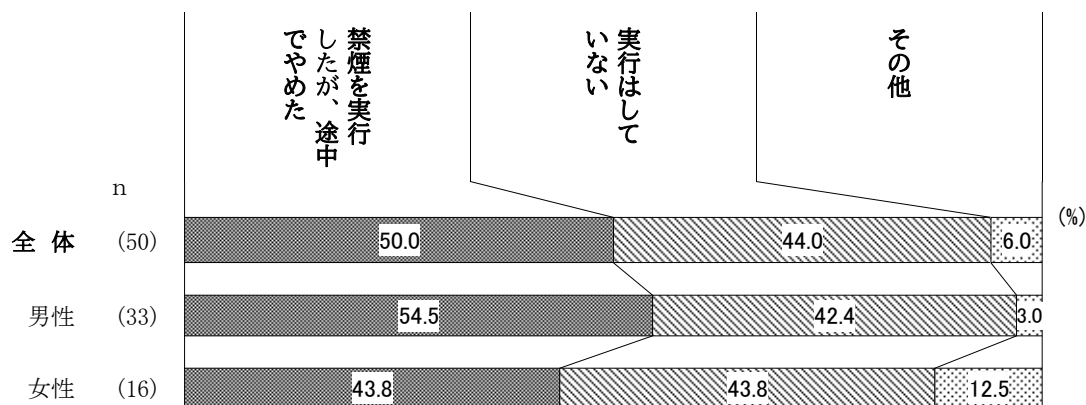
(3) 禁煙実行の有無

◇「禁煙を実行したが、途中でやめた」が5割

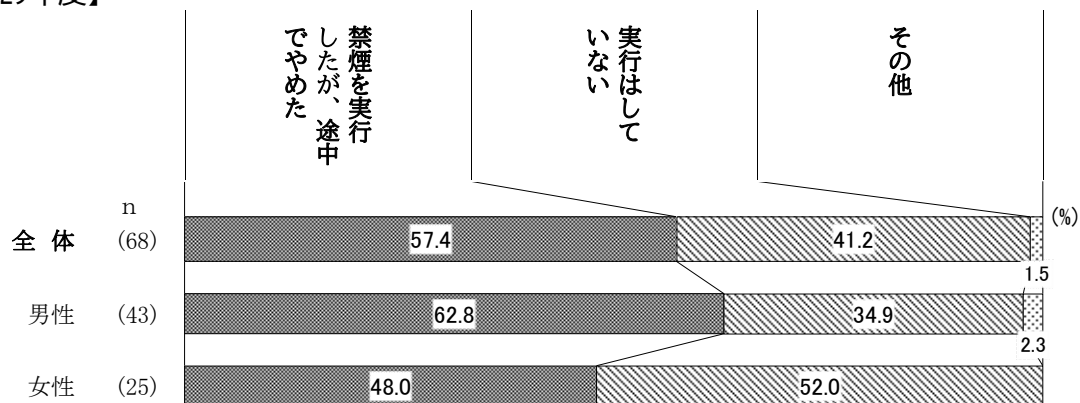
(問28-2で、「1 禁煙を考えたことがある」とお答えの方に)
問28-3 禁煙を実行しましたか。(○は1つだけ)

<図表V-6-3>禁煙実行の有無

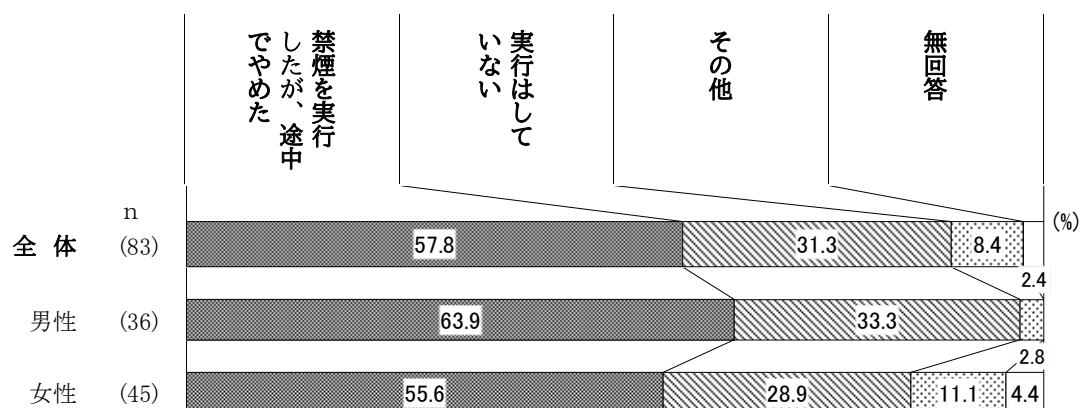
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】(参考)



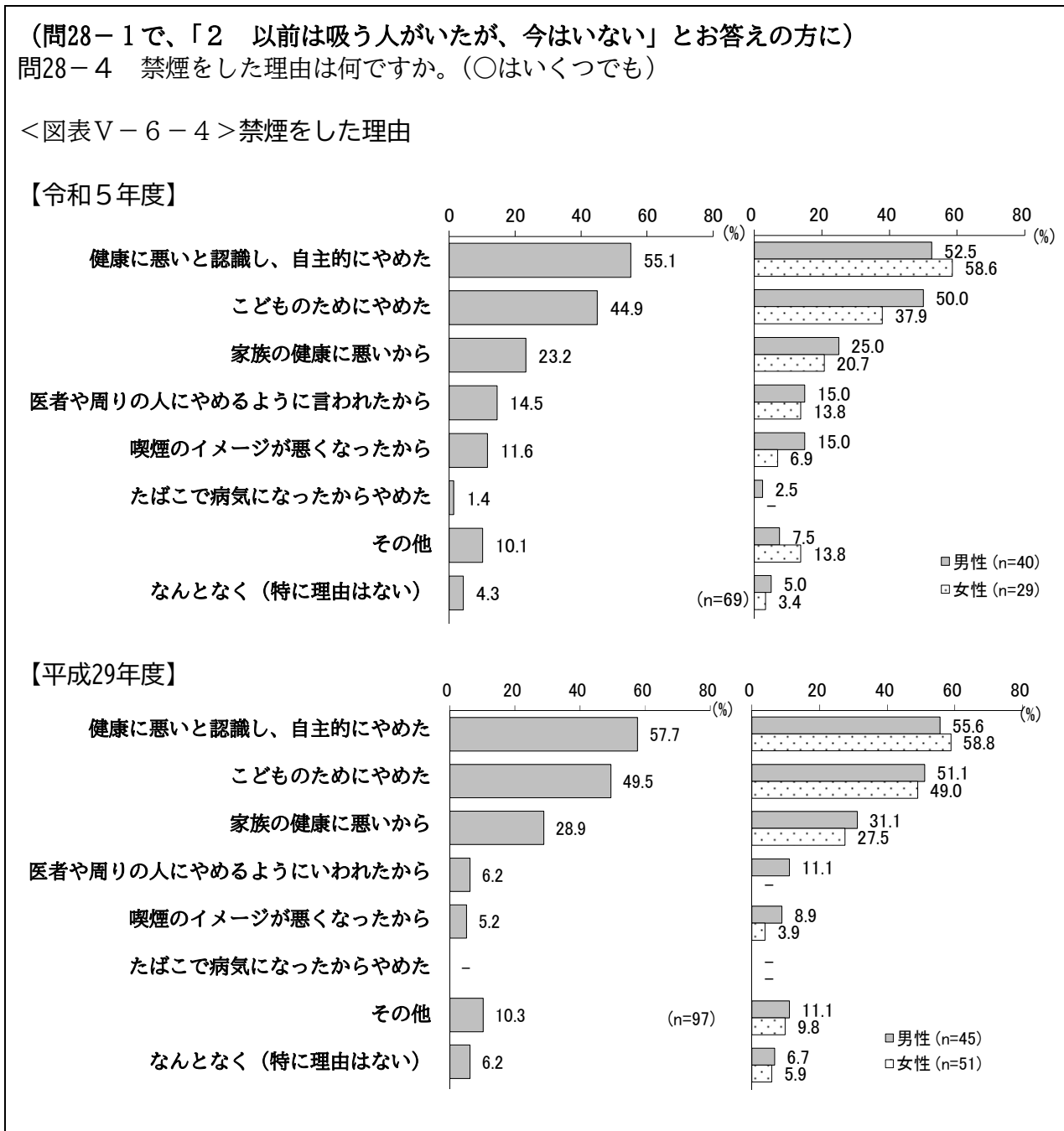
問28-2で、「1 禁煙を考えたことがある」と回答した人に禁煙実行の有無を聞いたところ、「禁煙を実行したが、途中でやめた」(50.0%)が5割、「実行はしていない」(44.0%)が4割台半ばとなっている。

性別で見ると、「禁煙を実行したが、途中でやめた」は男性が女性より10ポイント高く、5割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、全体は「禁煙を実行したが、途中でやめた」が平成29年度から7ポイント減少している。一方、「実行はしていない」は平成25年度から12ポイント増加している。男性は平成25年度から、「禁煙を実行したが、途中でやめた」が減少、「実行はしていない」は増加している。なお、女性は回答者数が少ないため、参考までに留める。(図表V-6-3)

(4) 禁煙をした理由

◇「自主的にやめた」が5割台半ばで最も高く、次いで「こどものためにやめた」が4割台半ば



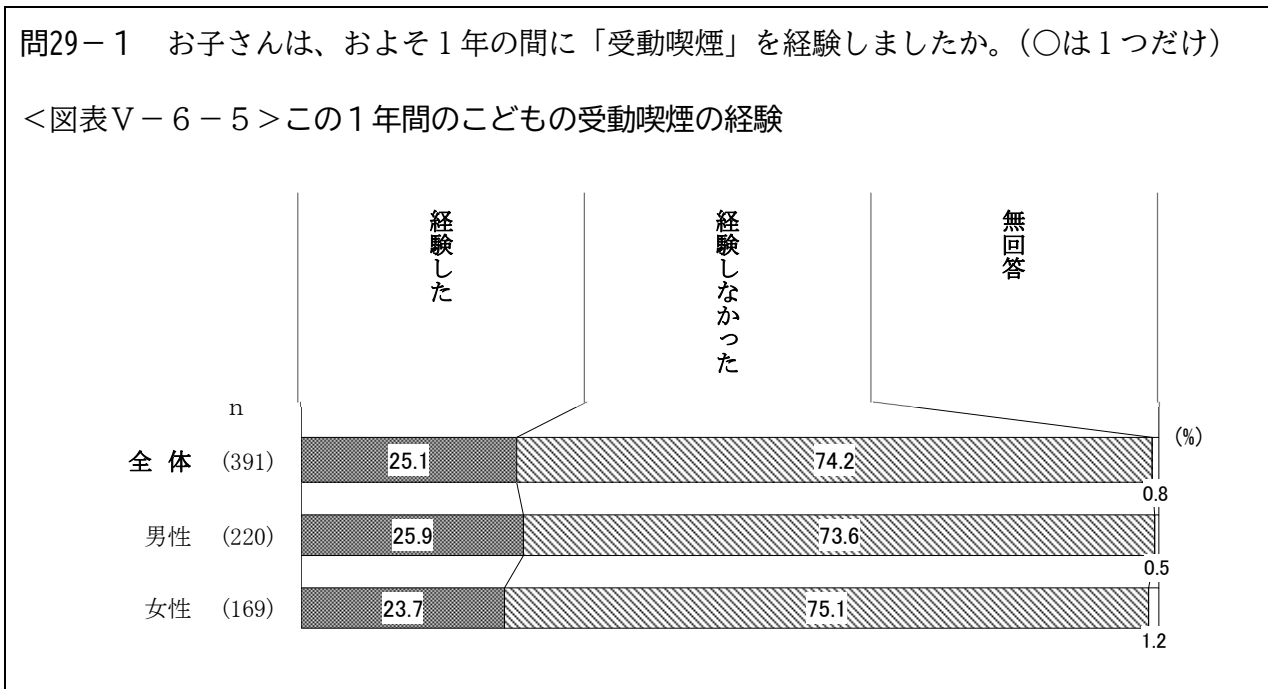
問28-1で、「2 以前は吸う人がいたが、今はいない」と回答した人に禁煙をした理由を聞いたところ、「健康に悪いと認識し、自主的にやめた」(55.1%)が5割台半ばで最も高く、次いで「こどものためにやめた」(44.9%)が4割台半ば、「家族の健康に悪いから」(23.2%)が2割台半ばとなっている。

性別は、「健康に悪いと認識し、自主的にやめた」は、女性が男性より6ポイント高く、約6割となっている。他の項目は男性が女性より高くなっている。

平成29年度の調査結果と比較すると、全体は「医者や周りの人にやめるように言われたから」が8ポイント、「喫煙のイメージが悪くなったから」が6ポイント増加し、「家族の健康に悪いから」が5ポイント減少している。男性は「喫煙のイメージが悪くなったから」が6ポイント増加し、「家族の健康に悪いから」が6ポイント減少している。なお、女性は回答者数が少ないため、参考までに留める。(図表V-6-4)

(5) この1年間のこどもの受動喫煙の経験

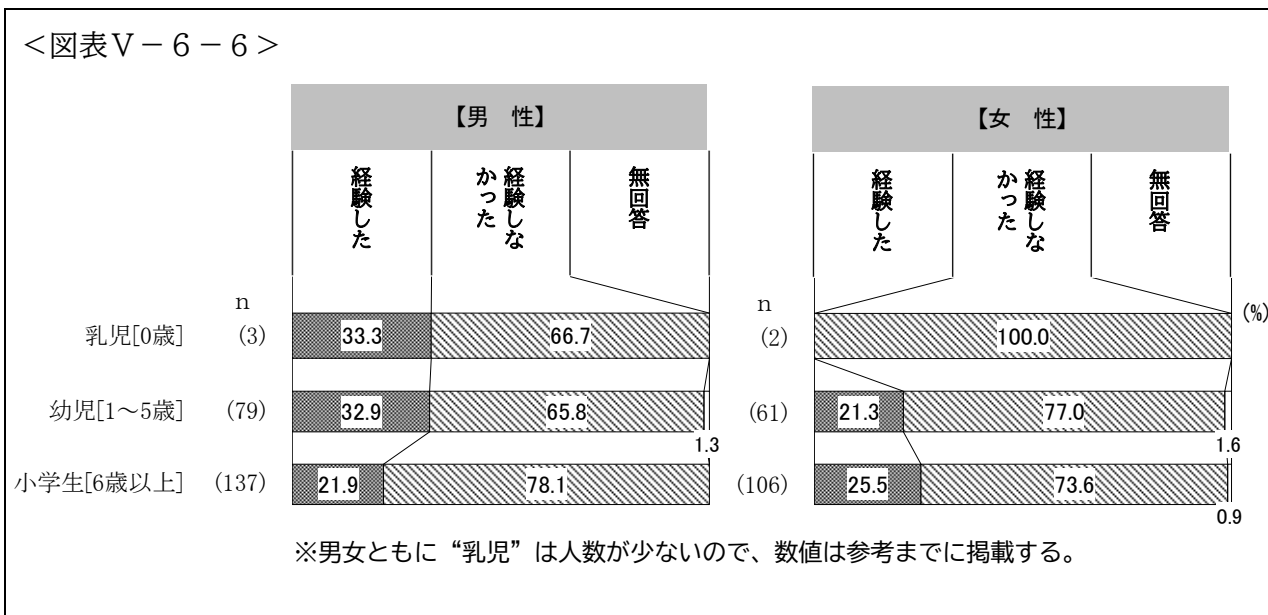
◇「経験した」は2割台半ば



お子さんが、およそ1年の間に受動喫煙を経験したか聞いたところ、「経験した」(25.1%)が2割台半ば、「経験しなかった」(74.2%)が7割台半ばとなっている。

性別では、大きな違いはみられない。(図表V-6-5)

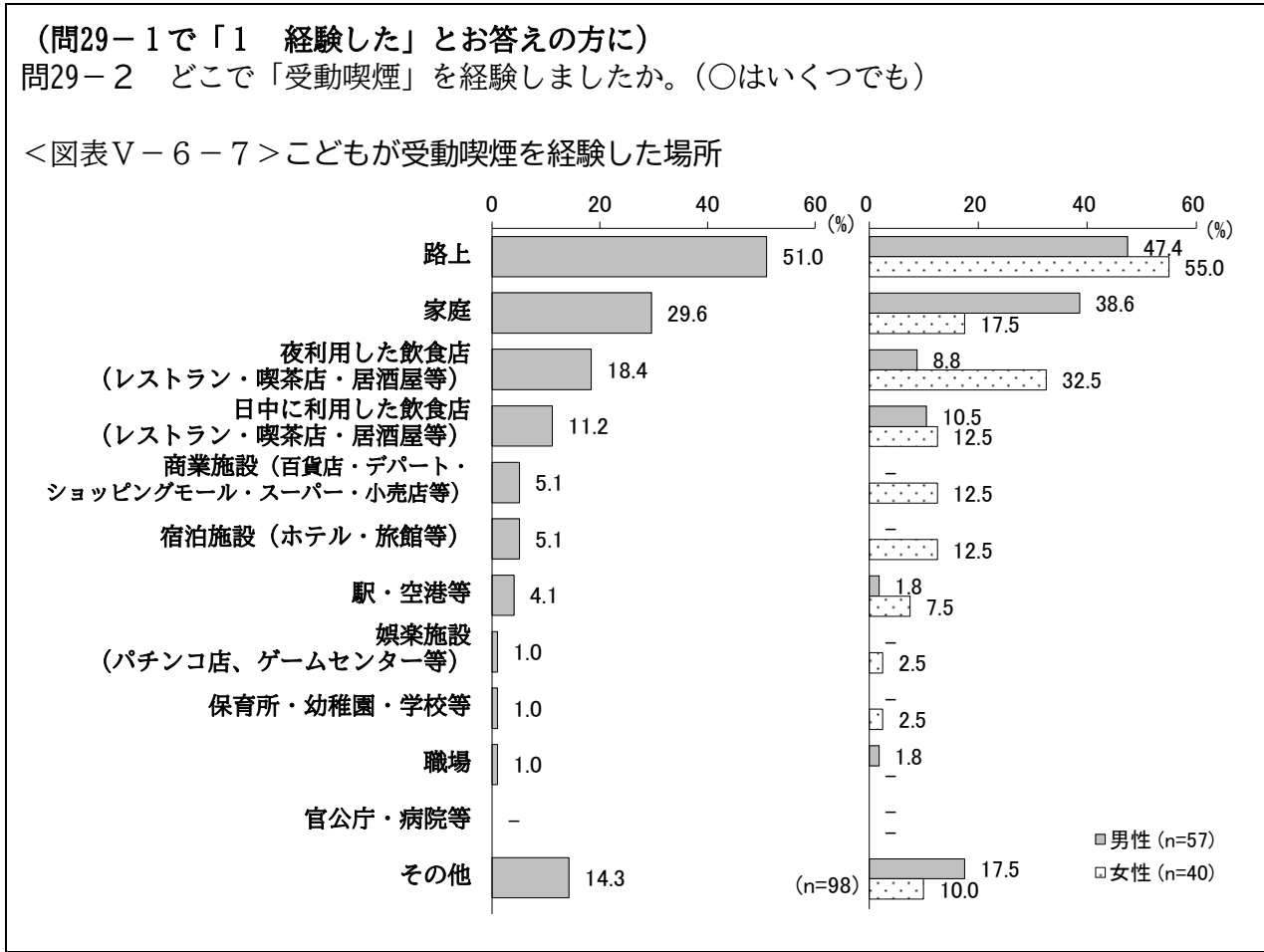
【性/年齢別】



男性では「経験した」は、幼児で3割を超え、「経験しなかった」は小学生で約8割となっている。女性では「経験した」は、小学生で2割台半ば、幼児で2割を超えている。(図表V-6-6)

(6) こどもが受動喫煙を経験した場所

◇「路上」が5割を超えて最も高く、次いで「家庭」が約3割



お子さんが受動喫煙を経験した場所を聞いたところ、「路上」(51.0%)が5割を超えて最も高く、次いで「家庭」(29.6%)が約3割、「夜利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)」(18.4%)が約2割、「日中に利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)」(11.2%)が1割を超えている。

上位項目を性別で見ると、「路上」は女性が男性より7ポイント高く、5割台半ば、「家庭」は男性が女性より21ポイント高く、約4割、「夜利用した飲食店(レストラン・喫茶店・居酒屋等)」は、女性が男性より23ポイント高く、3割を超えている。(図表V-6-7)

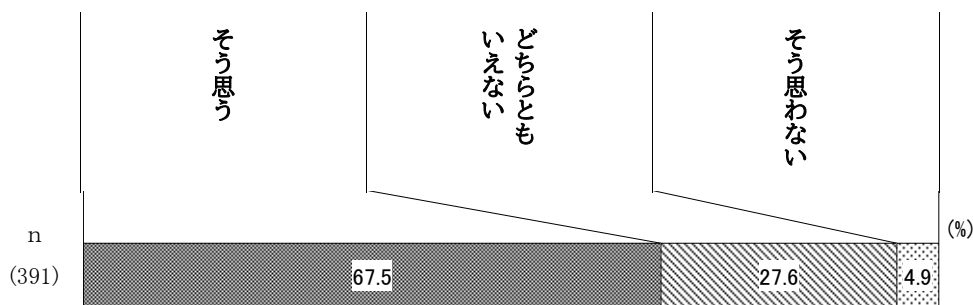
(7) 学校や職場での禁煙教育の取り組み

◇「そう思う」が約7割

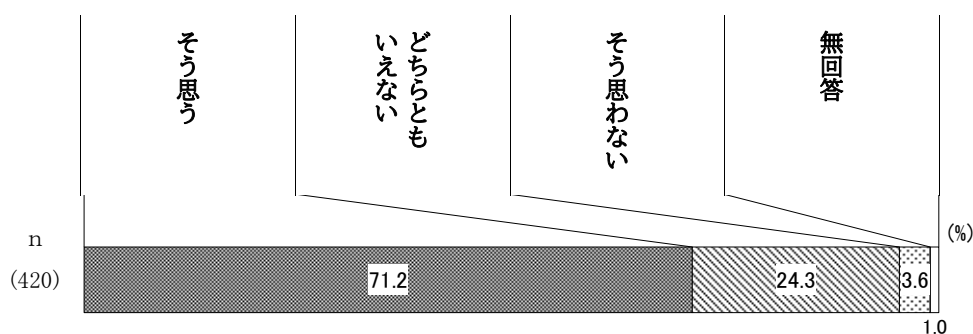
問30 学校や職場で、さらに積極的に禁煙教育に取り組むべきだと思いますか。(○は1つだけ)

<図表V-6-8>学校や職場での禁煙教育の取り組み

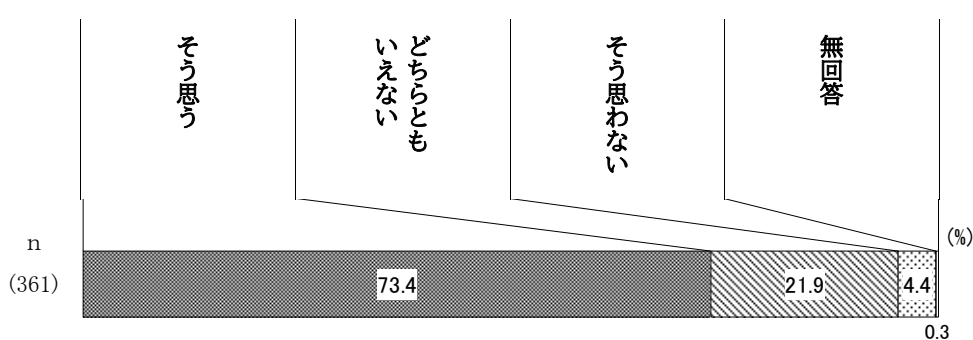
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】



学校や職場で禁煙教育に取り組むべきか聞いたところ、「そう思う」(67.5%)が約7割、「どちらともいえない」(27.6%)は約3割、「そう思わない」(4.9%)は1割を下回っている。

過去の調査結果と比較すると、平成25年度から「そう思う」は5ポイント減少、「どちらともいえない」は5ポイント増加し、それぞれ漸減、漸増傾向がみられる。(図表V-6-8)

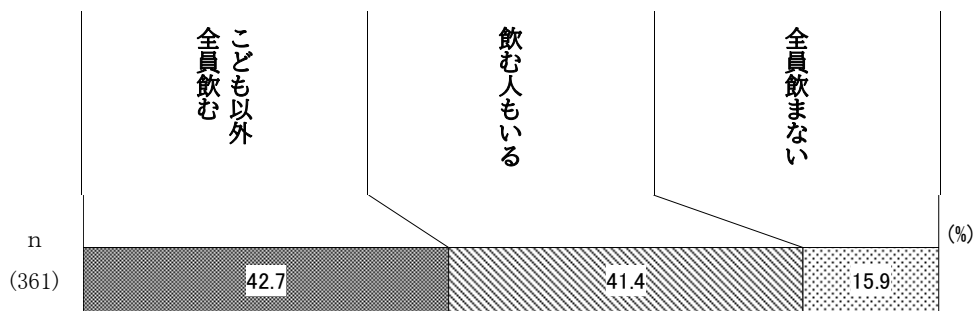
(8) 家族における飲酒者の有無

◇《家族の中に飲酒者がいる》が8割台半ば

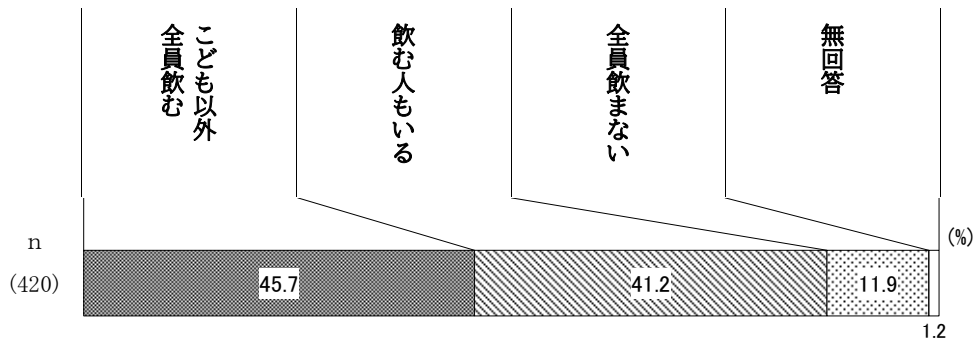
問31-1 あなたの家族の中に、アルコールを飲む人はいますか。(○は1つだけ)

<図表V-6-9> 家族における飲酒者の有無

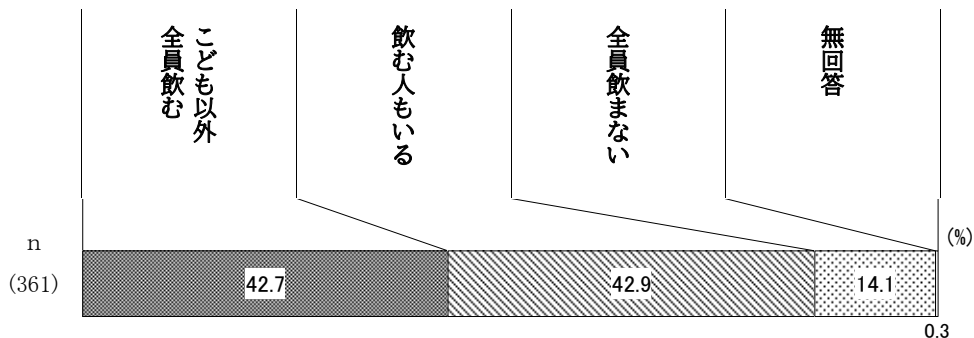
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】

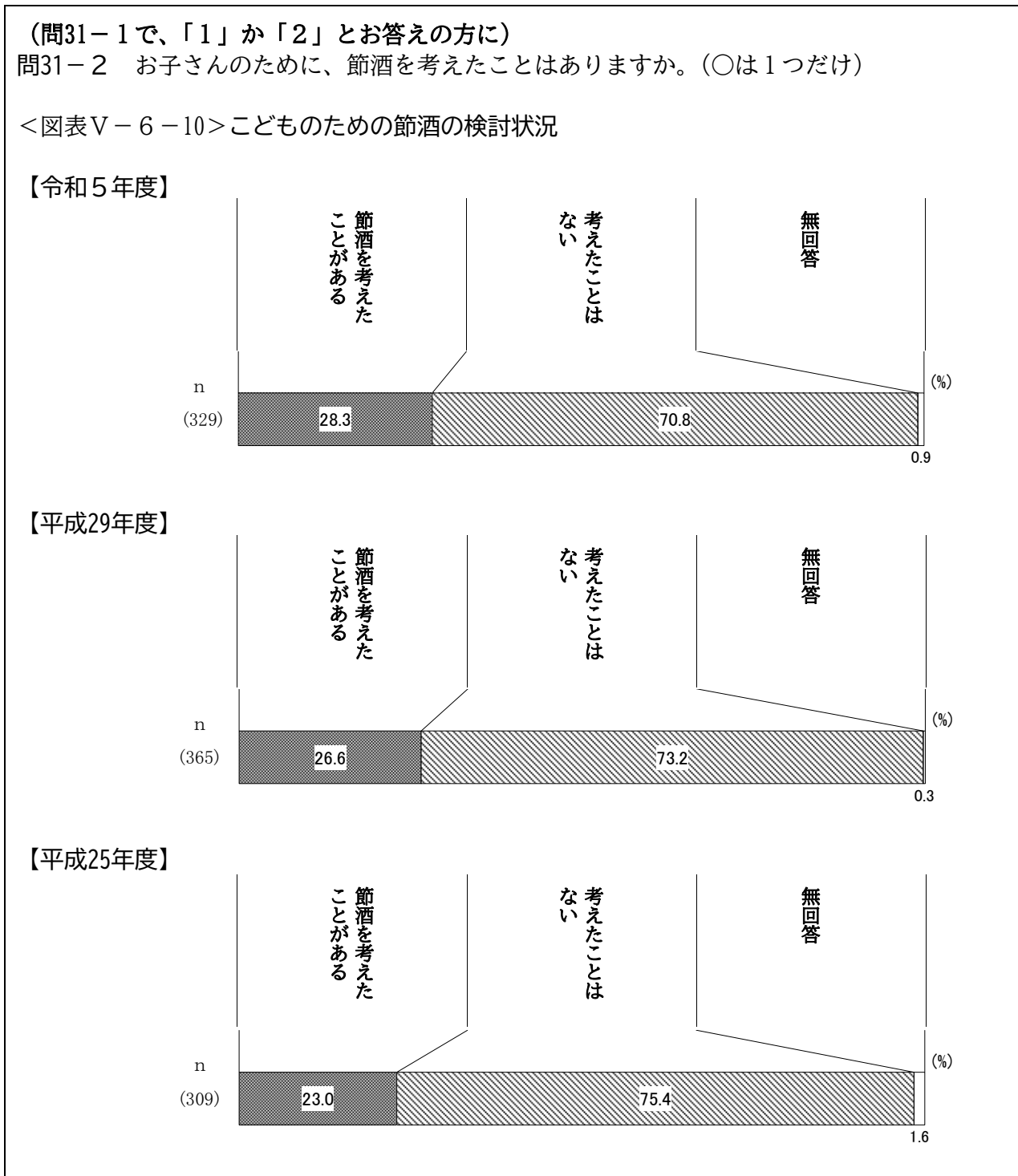


家族における飲酒者の有無を聞いたところ、「子ども以外全員飲む」(42.7%)と「飲む人もいる」(41.4%)を合わせた《家族の中に飲酒者がいる》(84.1%)は8割台半ばとなっている。一方、「全員飲まない」(15.9%)は1割台半ばとなっている。

過去の調査結果との比較では、大きな違いはみられない。(図表V-6-9)

(9) こどものための節酒の検討状況

◇「考えたことはない」が7割

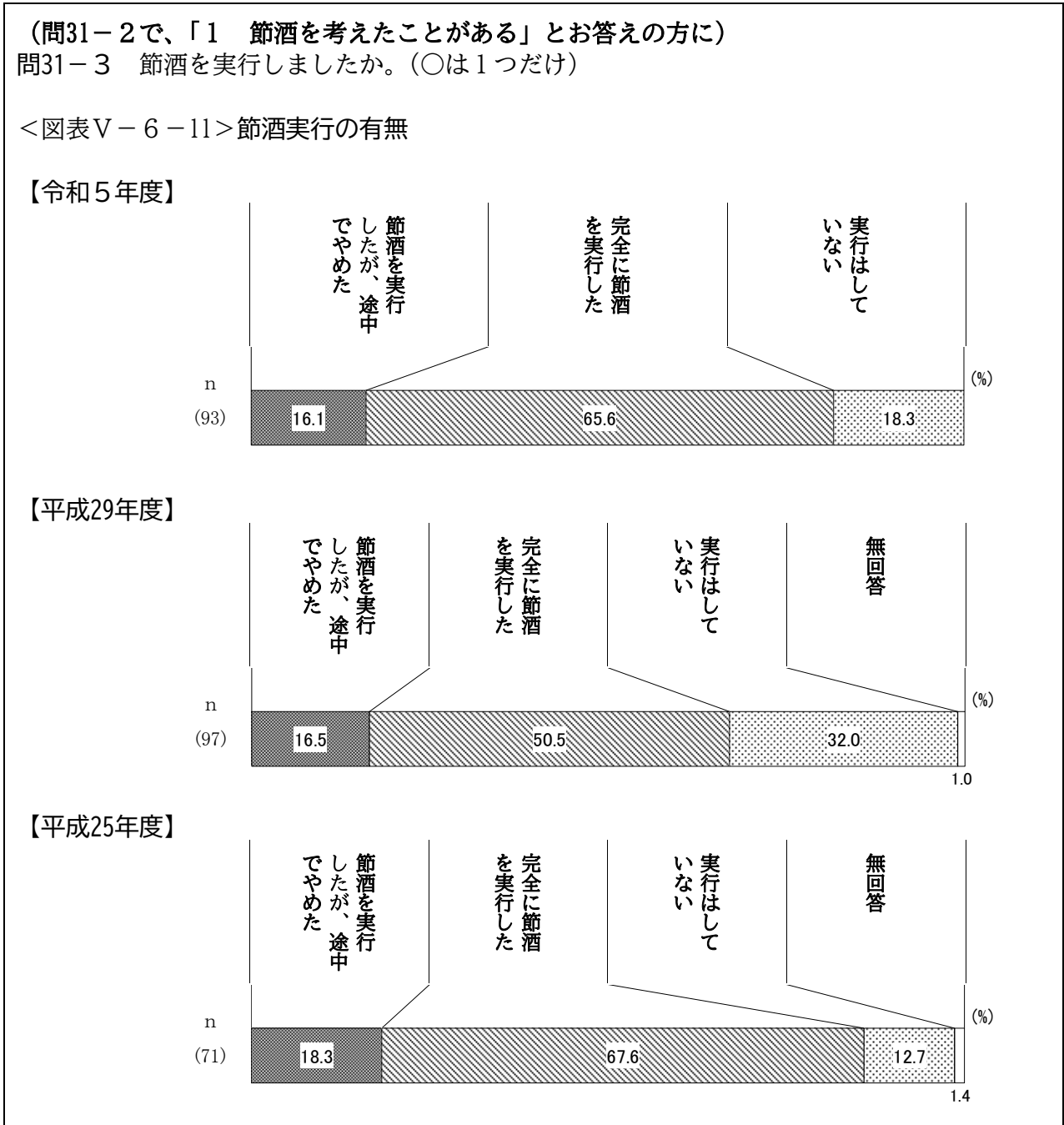


問31-1で、「1」か「2」と回答した人にこどものために節酒を考えたことがあるか聞いたところ、「節酒を考えたことがある」(28.3%)は約3割、「考えたことはない」(70.8%)が7割となっている。

過去の調査結果と比較すると、「節酒を考えたことがある」は平成25年度から5ポイント増加し、漸増傾向がみられる。(図表V-6-10)

(10) 節酒実行の有無

◇「完全に節酒を実行した」が6割台半ばで最も高い



問31-2で、「1 節酒を考えたことがある」と回答した人にその後の経過を聞いたところ、「完全に節酒を実行した」(65.6%)が6割台半ばで最も高くなっている。一方、「節酒を実行したが、途中でやめた」(16.1%)は1割台半ば、「実行はしていない」(18.3%)は約2割となっている。

過去の調査結果と比較すると、「完全に節酒を実行した」は平成29年度から15ポイント増加しているが、前回は平成25年度から17ポイント減少しており、それを戻したような形となっている。また、「実行はしていない」は平成29年度から13ポイント減少している。(図表V-6-11)

7 歯の健康について

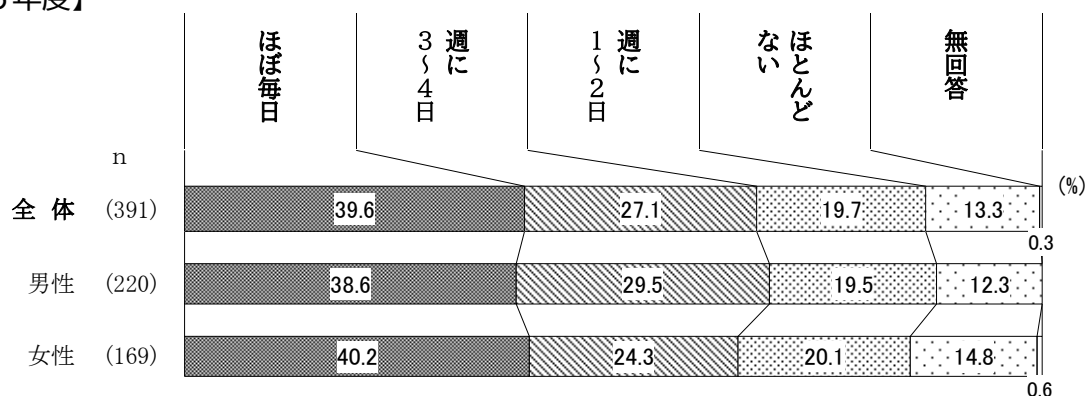
(1) こどもが1週間に甘味食品を摂る頻度

◇「ほぼ毎日」が約4割

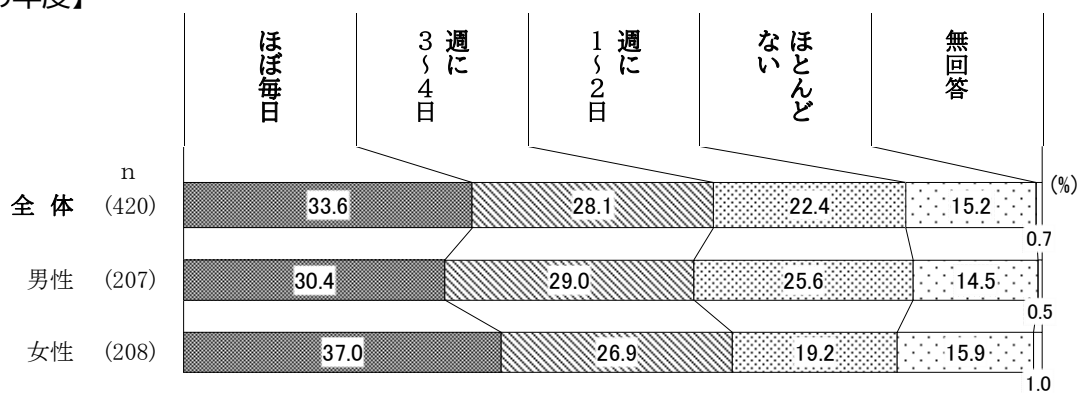
問32 お子さんは、甘いお菓子（アメ・チョコ・ガム・アイスなど）を1週間にどのくらい食べますか。（○は1つだけ）

<図表V-7-1>こどもが1週間に甘味食品を摂る頻度

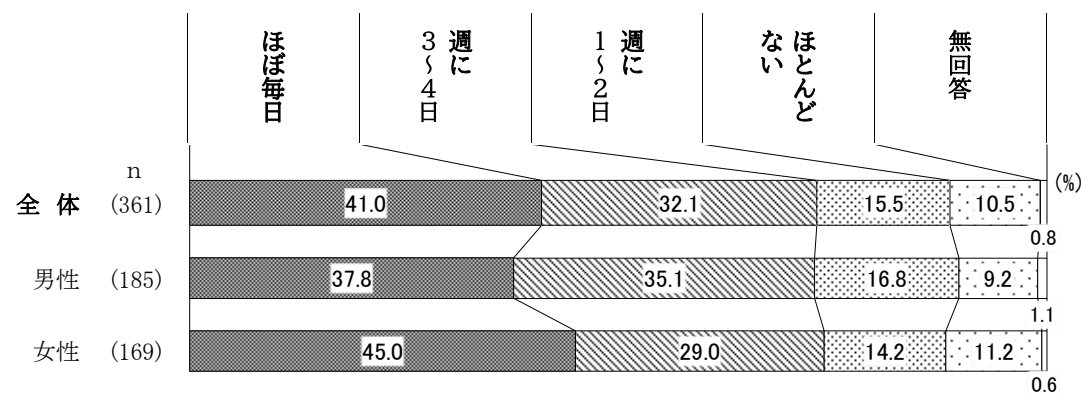
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】（参考：飲料を含む）



こどもが1週間に甘味食品を摂る頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」(39.6%)が約4割、「週に3～4日」(27.1%)が約3割、「週に1～2日」(19.7%)が約2割となっている。

性別では、「週に3～4日」は男性が女性より5ポイント高く、約3割となっている。

過去の調査結果と比較すると、全体では「ほぼ毎日」が平成29年度から6ポイント増加している。性別では、男性は平成29年度から「ほぼ毎日」が8ポイント増加し、「週に1～2日」が6ポイント減少している。なお、平成25年度調査は設問内容が異なるため、参考までに留める。(図表V-7-1)

【年齢別】

<図表V-7-2>

	n	ほぼ毎日	週に3～4日	週に1～2日	ほとんどない	無回答
0歳	5	-	-	-	100.0	-
1歳	23	8.7	-	4.3	87.0	-
2歳	25	36.0	12.0	24.0	28.0	-
3歳	27	33.3	18.5	29.6	18.5	-
4歳	26	26.9	26.9	34.6	11.5	-
5歳	39	35.9	30.8	25.6	5.1	2.6
6歳	34	44.1	35.3	14.7	5.9	-
7歳	31	38.7	38.7	22.6	-	-
8歳	38	34.2	42.1	15.8	7.9	-
9歳	31	67.7	16.1	12.9	3.2	-
10歳	48	43.8	33.3	18.8	4.2	-
11歳	61	49.2	29.5	19.7	1.6	-

多くの年齢層で「ほぼ毎日」が高く、なかでも9歳で約7割、11歳で約5割となっている。(図表V-7-2)

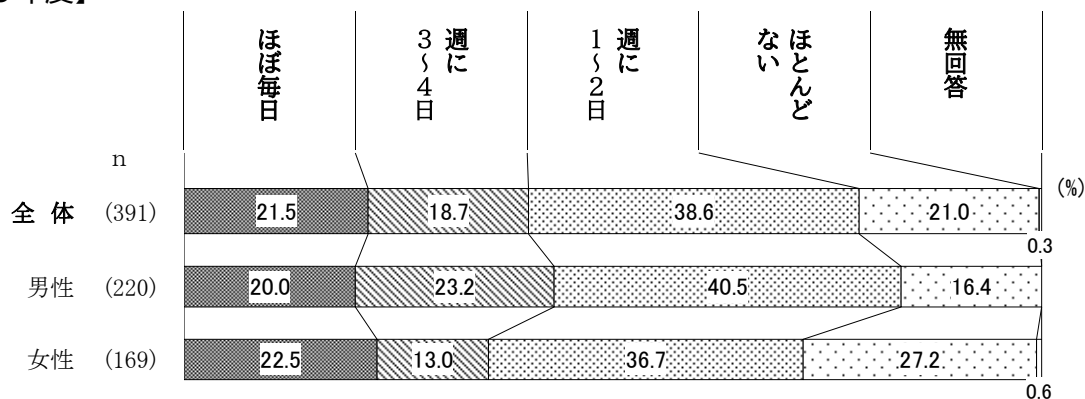
(2) こどもが1週間に甘味飲料を摂る頻度

◇「週に1～2日」が約4割

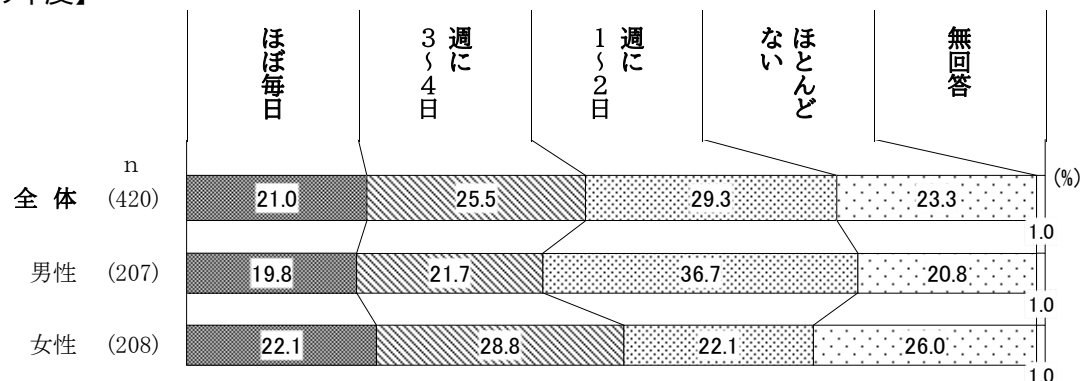
問33 お子さんは甘い飲み物（ジュース・乳酸飲料・スポーツドリンクなど）を1週間にどのくらい飲みますか（○は1つだけ）

<図表V-7-3>こどもが1週間に甘味飲料を摂る頻度

【令和5年度】



【平成29年度】



こどもが1週間に甘味飲料を摂る頻度としては、「ほぼ毎日」(21.5%)は2割を超え、「週に3～4日」(18.7%)は約2割、「週に1～2日」(38.6%)は約4割となっている。一方、「ほとんどない」(21.0%)は2割を超えている。

性別で見ると、「週に3～4日」は男性が女性より10ポイント高く、2割台半ばとなっている。一方、「ほとんどない」は女性が男性より10ポイント高く、約3割となっている。

平成29年度の調査結果と比較すると、全体は「週に3～4日」が6ポイント減少し、「週に1～2日」が9ポイント増加している。性別では女性は「週に3～4日」が15ポイント減少し、「週に1～2日」が14ポイント増加している。(図表V-7-3)

【年齢別】

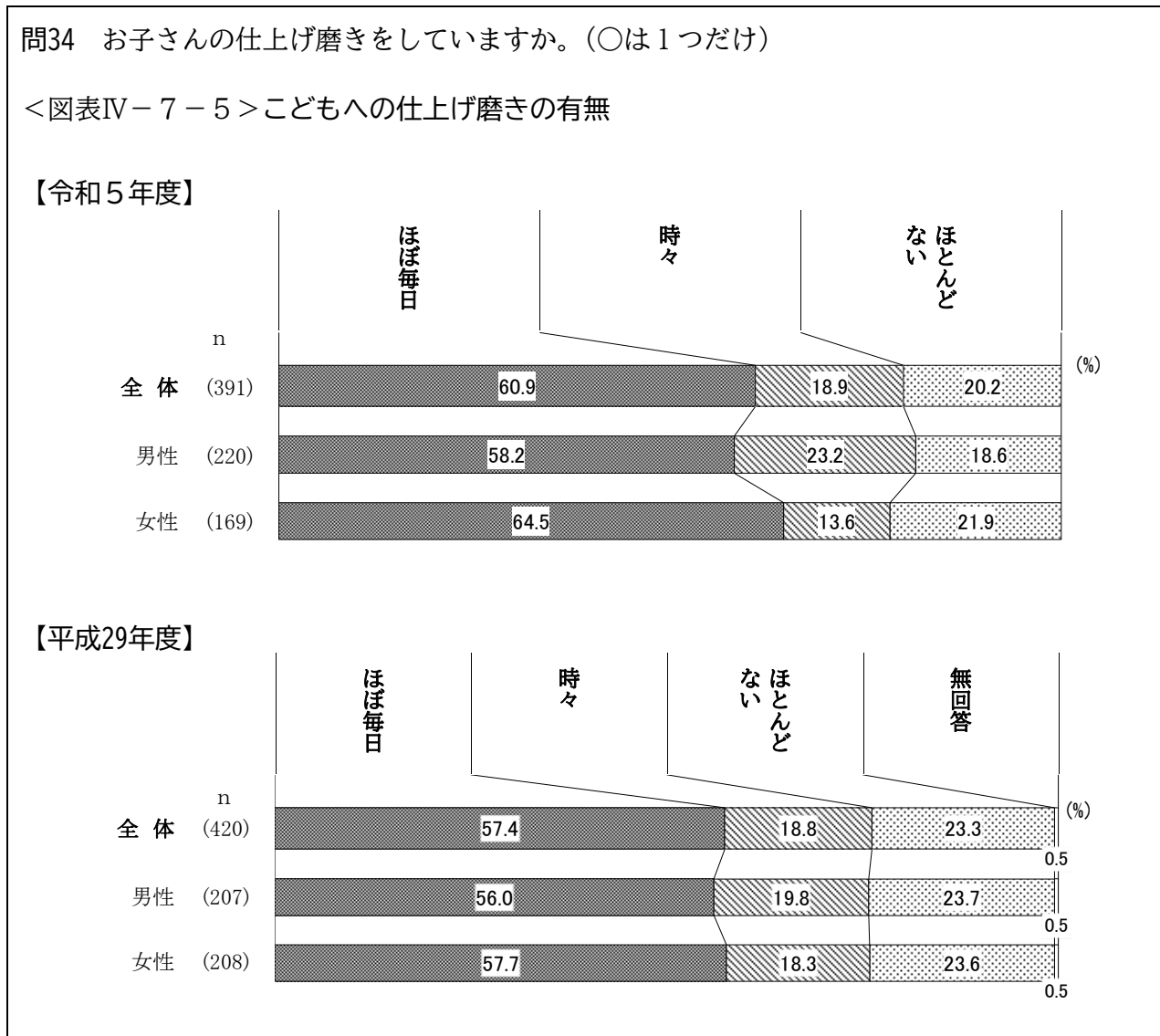
<図表V-7-4>

	n	ほぼ毎日	週に3〜4日	週に1〜2日	ほとんどない	無回答
0歳	5	-	-	-	100.0	-
1歳	23	8.7	4.3	30.4	56.5	-
2歳	25	40.0	16.0	28.0	16.0	-
3歳	27	40.7	11.1	37.0	11.1	-
4歳	26	26.9	19.2	34.6	19.2	-
5歳	39	28.2	12.8	46.2	10.3	2.6
6歳	34	8.8	20.6	44.1	26.5	-
7歳	31	6.5	22.6	54.8	16.1	-
8歳	38	13.2	26.3	39.5	21.1	-
9歳	31	29.0	6.5	48.4	16.1	-
10歳	48	18.8	18.8	43.8	18.8	-
11歳	61	21.3	32.8	27.9	18.0	-

2歳、3歳では「ほぼ毎日」が、4歳～10歳までは「週1～2日」が最も高く、7歳では5割台半ばとなっている。また、11歳では「週に3～4」が最も高くなっている。(図表V-7-4)

(3) こどもへの仕上げ磨きの有無

◇「ほぼ毎日」が6割



こどもへの仕上げ磨きの有無について聞いたところ、「ほぼ毎日」(60.9%)は6割、「時々」(18.9%)は約2割、「ほとんどない」(20.2%)は2割となっている。

性別で見ると、「ほぼ毎日」は女性が男性より6ポイント高く、6割台半ば、「時々」は男性が女性より9ポイント高く、2割台半ばとなっている。

平成29年度の調査結果と比較すると、全体では大きな違いはみられない。性別では「ほぼ毎日」は、女性が6ポイント増加し、「ほとんどない」は、男性が5ポイント減少している。(図表V-7-5)

【性／年齢別】

<図表Ⅳ－7－6>

	n	ほ ぼ 毎 日	時 々	ほ と ん ど な い	(%)
0歳	5	80.0	-	20.0	
1歳	23	69.6	17.4	13.0	
2歳	25	96.0	4.0	-	
3歳	27	96.3	-	3.7	
4歳	26	96.2	3.8	-	
5歳	39	82.1	17.9	-	
6歳	34	88.2	11.8	-	
7歳	31	80.6	9.7	9.7	
8歳	38	50.0	39.5	10.5	
9歳	31	38.7	35.5	25.8	
10歳	48	31.3	27.1	41.7	
11歳	61	13.1	24.6	62.3	

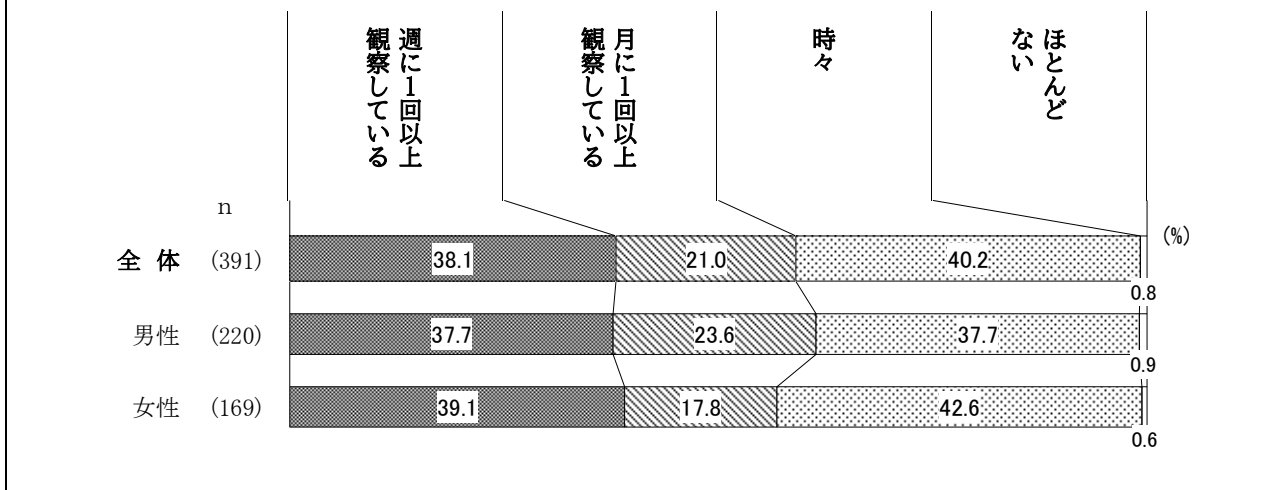
9歳までは「ほぼ毎日」が最も高く、2歳～4歳では9割台半ばを占めている。また、8歳以上では「時々」「ほとんどない」が高くなり、とくに「ほとんどない」は年齢が上がるにつれ増加し、11歳では6割を超えている。(図表Ⅴ－7－6)

(4) こどもの歯や歯ぐきの観察習慣

◇「週に1回以上観察している」が約4割も「ほとんどない」でも4割

問35 鏡などを使ってお子さんの歯や歯ぐきの様子をお子さん、または保護者が観察することがありますか。(○は1つだけ)

<図表V-7-7>こどもの歯や歯ぐきの観察習慣



こどもの歯や歯ぐきを観察する習慣について聞いたところ、「週に1回以上観察している」(38.1%)は約4割、「週に1回以上観察している」(21.0%)は2割を超え、「ほとんどない」(40.2%)は4割となっている。

性別で見ると、「月に1回以上観察している」は男性が女性より5ポイント高く、2割台半ばとなっている。(図表V-7-7)

【年齢別】

<図表V-7-8>

		(%)			
	n	週に1回以上観察	月に1回以上観察	ほとんどない	無回答
0歳	5	60.0	-	40.0	-
1歳	23	47.8	8.7	43.5	-
2歳	25	36.0	12.0	52.0	-
3歳	27	37.0	14.8	48.1	-
4歳	26	38.5	19.2	42.3	-
5歳	39	46.2	17.9	33.3	2.6
6歳	34	64.7	20.6	11.8	2.9
7歳	31	51.6	19.4	29.0	-
8歳	38	44.7	31.6	23.7	-
9歳	31	22.6	32.3	45.2	-
10歳	48	22.9	29.2	47.9	-
11歳	61	24.6	18.0	55.7	1.6

「週に1回以上観察している」は0歳、1歳と5歳～8歳で4割～6割台と高くなっているが、2歳～4歳、9歳以上では「ほとんどない」が高く、2歳、11歳で5割台となっている。(図表V-7-8)

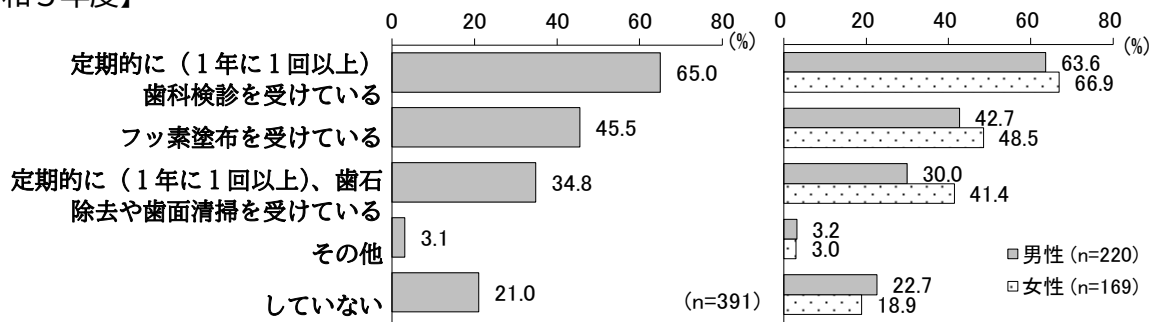
(5) こどもの定期的な歯科検診の受診状況

◇「定期的に歯科検診を受けている」が6割台半ば

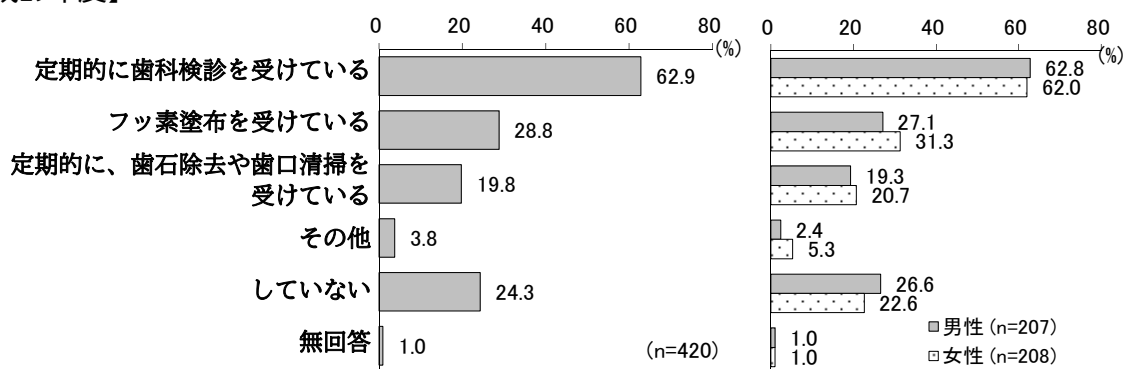
問36 お子さんは、保育園や幼稚園、学校の歯科検診以外に、次のような処置を受けていますか。
(○はいくつでも)

<図表V-7-9>こどもの定期的な歯科検診の受診状況

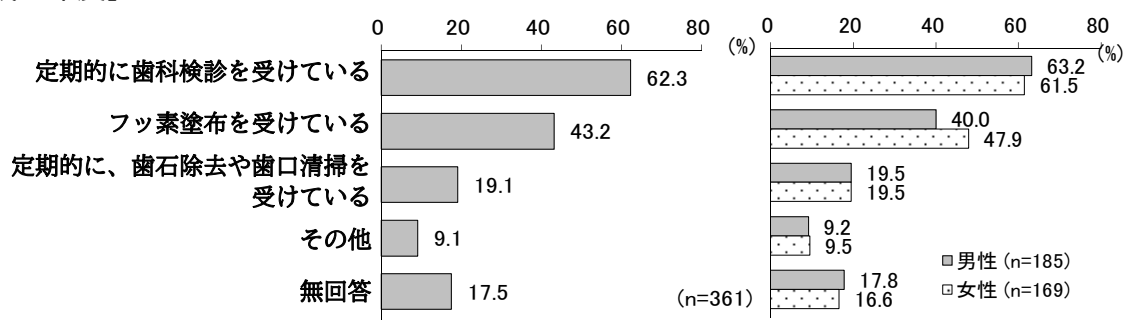
【令和5年度】



【平成29年度】



【平成25年度】



こどもの定期的な歯科検診の受診状況を聞いたところ、「定期的に（1年に1回以上）歯科検診を受けている」（65.0%）が6割台半ばで最も高く、「フッ素塗布を受けている」（45.5%）が4割台半ば、「定期的に（1年に1回以上）、歯石除去や歯面清掃を受けている」（34.8%）が3割台半ばとなっている。

性別では、「定期的に（1年に1回以上）、歯石除去や歯面清掃を受けている」は女性が男性より11ポイント高く、4割を超え、「フッ素塗布を受けている」でも同5ポイント高く、約5割となっている。

過去の調査結果と比較すると、全体では「フッ素塗布を受けている」は、平成29年度から16ポイント増加しているが、前回、平成25年度から14ポイントの減少を戻した形となっている。また、「定期的に（1年に1回以上）、歯石除去や歯面清掃を受けている」は平成29年度から15ポイント増加している。性別では、男女ともすべての項目で平成29年度から増加し、「フッ素塗布を受けている」は男性が15ポイント、女性が17ポイント、「定期的に（1年に1回以上）、歯石除去や歯面清掃を受けている」は男性が10ポイント、女性が20ポイント、それぞれ増加している。（図表V-7-9）

【年齢別】

<図表V-7-10>（全項目）

		(%)				
	n	定期的に 受けている 歯科検診を	定期的に 歯面清掃を 受けて 歯石除去 や	フッ素 塗布を 受けて いる	その 他	して いない
0歳	5	20.0	-	-	-	80.0
1歳	23	30.4	21.7	21.7	13.0	43.5
2歳	25	52.0	8.0	20.0	-	40.0
3歳	27	55.6	7.4	40.7	-	29.6
4歳	26	69.2	26.9	42.3	3.8	19.2
5歳	39	64.1	35.9	59.0	2.6	20.5
6歳	34	76.5	41.2	44.1	-	17.6
7歳	31	64.5	32.3	58.1	-	25.8
8歳	38	81.6	47.4	50.0	2.6	7.9
9歳	31	77.4	41.9	54.8	-	19.4
10歳	48	66.7	43.8	54.2	2.1	8.3
11歳	61	67.2	49.2	42.6	8.2	14.8

「定期的に（1年に1回以上）歯科検診を受けている」は、8歳が8割を超え、9歳も約8割と高く、6歳が7割台半ばとなっている。「フッ素塗布を受けている」は、5歳、7歳が約6割、「定期的に（1年に1回以上）、歯石除去や歯面清掃を受けている」は、11歳が約5割と高くなっている。（図表V-7-10）

8 自由回答

★今後の保健衛生事業・健康づくり・計画へのご要望・ご意見・ご提案等ございましたら、ご自由にご記入ください。

区への意見や要望に対しては、78人から延べ97件の回答が寄せられた。ここでは、意見や要望を分類し、各項目別で記載した。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、複数回答として、それぞれを各テーマに分類している。

【健康づくり・健康意識】 19

学校教育での取り組み	6
予防接種(無料・一部助成)の希望	6
スポーツや健康に関する教室やイベントの充実	5
健康についての考え	2

【環境】 18

禁煙や分煙の推進・強化	15
公共施設の整備	3

【区役所・行政】 17

行政・区役所の取り組みの充実	14
区への感謝	3

【育児】 12

公園・遊び場の整備・充実	8
障害児への支援	2
放課後の学校開放について	2

【情報提供】 6

健康に関する活動・指導等の情報提供を充実	6
----------------------	---

【健康づくり施設】 6

健康・スポーツ施設の整備・充実	6
-----------------	---

【健康診断】 2

歯科検診の充実、フッ素塗布(無料)の再開	2
----------------------	---

【その他】

17

アンケートに関して	6
その他	11

